

リモートコントロール パネル

取扱説明書



電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



MEMORY STICK™

RCP-D50/D51

安全のために

ソニー製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4 ページの注意事項をよくお読みください。

定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使用を中止する

お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

異常な音、におい、煙が出たら

- ➡ ① 接続コードを抜く。
② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口修理を依頼する。

炎が出たら



- ➡ すぐに消火する。

警告表示の意味

このオペレーションマニュアルおよび製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止

⚠ 警告	4
概要	5
主な特長	5
各部の名称と働き	6
操作パネル	6
コネクターパネル	13
コンソールへの取り付け	14
メニューの構成と基本操作	15
基本操作手順	15
メニュー画面の基本構成	16
DXC-D50接続時のメニュー項目	20
DXC-D30/D35接続時のメニュー項目	26
DXC-637シリーズ接続時のメニュー項目	33
CCU-TX50接続時のメニュー項目	37
初期設定	42
RCP-D50/D51の動作環境の設定	42
時計を合わせる	42
ブザーを設定する	43
LEDの明るさを設定する	44
ロータリーエンコーダーの設定を変更する	44
液晶ディスプレイの明るさ/コントラストを設定する	45
ASSIGNボタンに機能を割り当てる	45
暗証番号を設定する	46
ファイル操作	48
シーンファイル进行操作する	50
カメラ・メモリースティック間でシーンファイルを転送する (DXC-D50使用時)	51
セットアップファイル进行操作する (DXC-D30/D35使用時)	52
スキンディテール・スキンマトリックス補正 (DXC-D30/D35/D50使用時)	53
複数カメラのコントロール — マルチカメラ操作	54
接続と準備	54
アイリス/マスターブラックを複数のカメラで同時に調整する	54
設定データをカメラ間でコピーする	54
1台のRCPで複数のカメラ进行操作する — コマンドリンク操作	55
メモリースティック	56
メモリースティックの取り付け	56
メモリースティックについて	56
主な仕様	58
保証書とアフターサービス	59



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがにつながる可能性があります。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、接続コードを抜いて、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所で設置・使用すると、火災や感電の原因となります。

リモートコントロールパネル RCP-D50/D51は、ソニー DXC-D50、DXC-D30/D35、DXC-637シリーズなどのカラービデオカメラをリモートコントロールするためのコントロールパネルです。

RCP-D50とRCP-D51では、アイリス/マスターブラック調整部の構成・形状が異なるだけで、他の機能は共通です。

アイリス/マスターブラック調整部は、RCP-D50ではジョイスティック（レバー）タイプ、RCP-D51ではつまみになっています。

主な特長

カメラの基本的オペレーションに適した操作性

本機は、カメラの基本的オペレーションに必要なコントロール機能を備えています。操作ボタン、調整つまみなど、機能と使う頻度に応じてパネル上に配置されています。また、自照式ボタンの点滅や点灯の状態により、操作状況がわかるようになっています。さらに、誤操作した場合にカメラの動作やセットアップに重大な影響を及ぼすボタンの周囲にはガードを付けるなど、様々な機能を簡単かつ正確に操作できるようになっています。

撮影操作をフルコントロール

カメラの調整や設定に加えて、パンやチルトなどの雲台の操作やフォーカス合わせやズームなどのレンズの操作もコントロールできます。

シーンファイル

撮影シーンに合わせて調整された撮影条件のデータを、シーンファイルとして本機のメモリー（DXC-D50接続時はカメラのメモリー）に保存できます。このデータを使って、適切な撮影条件をすばやく再現できます。シーンファイルは20個まで作成できます。

複数のカメラ間の設定合わせ

CCUを介して複数のカメラを接続しているシステムでは、CCU同士を接続することにより、本機の操作ですべてのカメラをほぼ同じ状態に色合わせすることができます。

カメラの使用状況や状態の確認

光学フィルターのポジションや絞りのF値、レンズエクステンダーの状態など、カメラの使用状況を本機のパネルで見ることができます。また、カメラの自己診断結果もLCDに表示させることができます。

デジタル回線による接続

カメラコントロールユニットと本機との間は、デジタル回線により信号の受け渡しを行います。1本の接続ケーブル（CCA-7）ですべての信号の授受を確実に行うことができます。本機には接続ケーブルを介して電源が供給されます。

メモリースティックスロット

シーンファイルなど各種データをメモリースティックに保存し、必要に応じて読み出して再現させることができます。

タッチパネルと3.5型LCDにより各種機能に対応

LCDに表示される機能をタッチパネルで選択することにより、各機能の設定を変更することができます。（設定できる機能は、カメラによって異なります。）

ビデオ表示機能

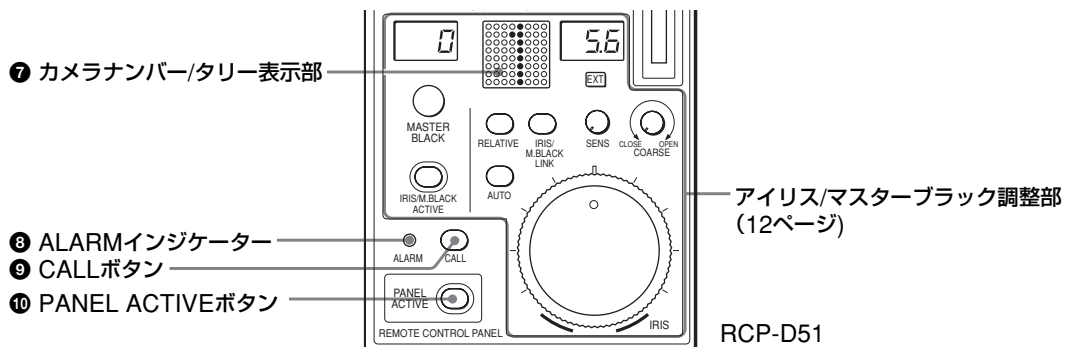
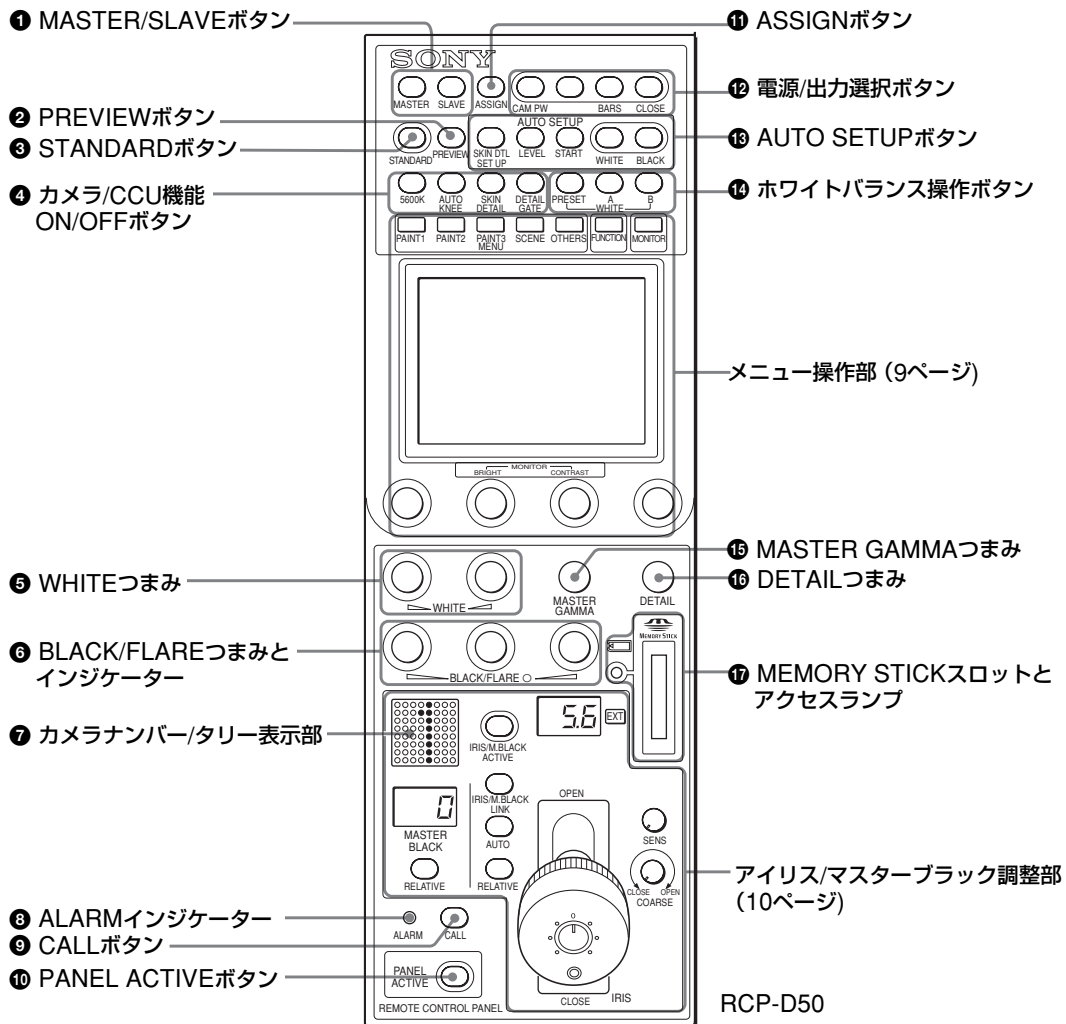
LCDには、カメラからの映像を表示することができるため、簡易映像モニターとして使用することも可能です。

19インチのラックに4台取り付け可能

19インチのEIA標準ラックに4台並べて取り付けることができます。

各部の名称と働き

操作パネル



① MASTER (マスター) /SLAVE (スレーブ) ボタン

マスター/スレーブモードで、複数のカメラのホワイトバランスを同時に調整するとき、マスター機、スレーブ機を指定します。

本機でコントロールしているカメラをマスターにするときはMASTERボタンを押して点灯させ、スレーブにするときはSLAVEボタンを押して点灯させます。

どちらのボタンも、もう1度押すと消灯します。

② PREVIEW (プレビュー) ボタン

コネクターパネルのEXT I/O端子に接続した外部機器を制御するとき押します。

◆動作仕様については「コネクターパネル」(13ページ)の「③ EXT I/O (外部I/O) 端子 (9ピン)」をご覧ください。

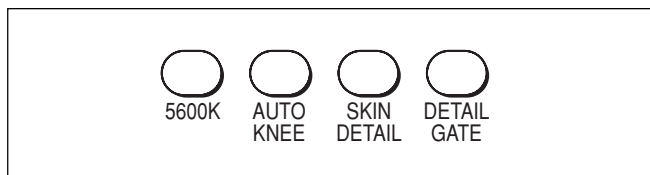
③ STANDARD (標準) ボタン

押すとビデオカメラの各種設定が標準状態になり、ボタンが数秒間点灯します。

ボタンが点灯している間は、パネル操作できません。

④ カメラ/CCU機能ON/OFFボタン

ビデオカメラやCCUの機能を、本機からON/OFFすることができます。



5600K：5600Kの電気色温度補正機能 (DXC-D50接続時のみ有効)

AUTO KNEE (オートニー)：オートニー機能。ONでは、画面の明るさに応じて自動的にニーが働きます。

SKIN DETAIL (スキディテール)：スキディテール機能

DETAIL GATE (ディテールゲート)：スキディテールゲート機能。ONにすると、スキディテールの調整範囲がピクチャーモニター上に白く表示されます。

◆スキディテールおよびディテールゲートについて詳しくは、「スキディテール・スキンマトリックス補正 (DXC-D30/D35/D50使用時)」(53ページ)をご覧ください。

⑤ WHITE (ホワイトバランス手動調整) つまみ

ホワイトバランス手動調整用のつまみです。

左のつまみでR信号、右のつまみでB信号を調整します。

⑥ BLACK/FLARE (ブラックバランス/フレアバランス手動調整) つまみとインジケーター

インジケーター消灯時はブラックバランスを、インジケーター点灯時はフレアバランスを調整します。

左から順にR、G、B信号を調整します。

ブラックバランス/フレアバランスの選択はOTHERSメニューで行います。

◆「ロータリーエンコーダーの設定を変更する」(44ページ)をご覧ください。

⑦ カメラナンバー/タリー表示部

本機でコントロールしているカメラのナンバーが、オレンジ色で表示されます。

カメラにレッドタリー信号が入力されると、背景が赤く点灯し、ナンバーは黒で表示されます。グリーントアリー信号が入力されると背景が緑に点灯し、ナンバーは黒で表示されます。

レッドタリー信号とグリーントアリー信号が同時に入力された場合は、背景の左半分が赤、右半分が緑に点灯します。

⑧ ALARM (アラーム) インジケーター

システムに異常が発生し、カメラやCCUで自己診断機能が動作すると、赤く点灯します。

⑨ CALL (コール) ボタン

CCU経由でカメラを接続しているときこのボタンを押すと、カメラにコール信号が送出され、カメラ側のCALLボタンが点灯します。また、カメラのタリーランプとCCUのレッドタリーランプは、それぞれ点灯していた場合は消灯し、消灯していた場合は点灯します。

カメラ側でCALLボタンが押されると、本機のCALLボタンが点灯し、ブザーが鳴ります。

⑩ PANEL ACTIVE (パネルアクティブ) ボタン

押して点灯させると、本機に接続したカメラシステムをコントロールできる状態 (パネルアクティブ状態) になります。このときアイリス/マスターブラック調整部のIRIS/M.BLACK ACTIVEボタンも同時に点灯します。

また、消灯させるとパネルはロックされ、誤動作防止になります。パネルアクティブロックに暗証番号が設定されているときは、パネルアクティブ状態でこのボタンを2秒間押し続けるとロック状態になり、PANEL ACTIVEボタンおよびIRIS/M.BLACKボタンが暗証番号で保護されます。

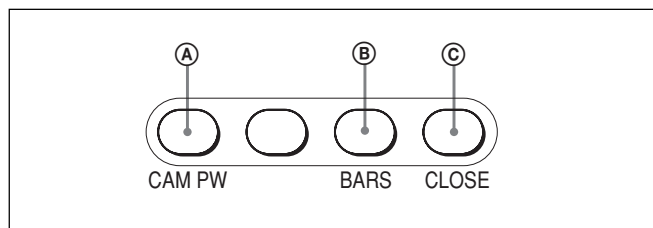
◆パネルアクティブロック設定については、「暗証番号を設定する」(46ページ)をご覧ください。

11 ASSIGN (アサイン) ボタン

RCPコンフィグメニューのSW Settingで、各種の機能を割り当てることができます(工場出荷時は何も割り当てられていません)。

◆詳しくは、「ASSIGNボタンに機能を割り当てる」(45ページ)をご覧ください。

12 電源/出力選択ボタン



④ CAM PW (カメラ電源) ボタン

本機にCCU-TX7を接続しているときは、このボタンを押して点灯させると、ビデオカメラに電源が供給されます。(ボタンを押してから、カメラが立ち上がって通信可能になるまでの間は、高速で点滅します。)

もう1度押すと点滅に変わり、カメラへの電源供給が遮断されます。

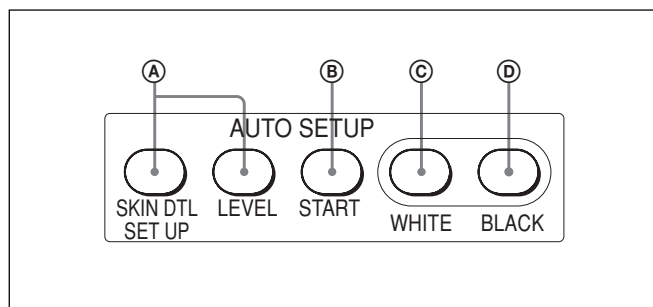
⑤ BARS (カラーバー出力) ボタン

押して点灯させると、カメラのテスト信号発生器が作動し、カラーバー信号が出力されます。もう1度押すと消灯し、カメラの画像が表示されます。

⑥ CLOSE (アイスクローズ) ボタン

押して点灯させると、絞りがクローズします。もう1度押すとボタンは消灯し、クローズが解除されます。STANDARDボタンまたはIRIS M.BLACK LINKボタンを押すか、シーンファイル进行操作した場合も、クローズが解除されます。

13 AUTO SETUP (オートセットアップ) ボタン



⑦ 自動調整項目選択ボタン

押して点灯させ、自動調整する項目を選択します。

SKIN DTL SETUP (スキディテールセットアップ)：スキディテール

LEVEL (レベル)：ガンマバランス、ニーポイント、マスターブラックレベルなど

◆スキディテールの調整について詳しくは、「スキディテール・スキマトリックス補正 (DXC-D30/D35/D50使用時)」(53ページ)をご覧ください。

⑧ START (自動調整開始) ボタン

このボタンを押すと、点灯している自動調整項目選択ボタンに対応する項目の自動調整が実行されます。

調整中はボタンが点灯し、調整が完了すると消灯します。

⑨ WHITE (ホワイトバランス自動調整) ボタン

押すと、ホワイトバランスが自動調整されます。

調整中はボタンが点灯し、調整が完了すると消灯します。

⑩ BLACK (ブラックバランス自動調整) ボタン

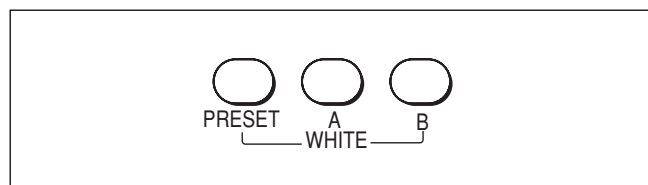
押すと、ブラックバランス、ブラックセットが自動調整されます。

調整中はボタンが点灯し、調整が完了すると消灯します。

ご注意

自動調整中にエラーが発生した場合は、点灯させたボタンが点滅します。

14 ホワイトバランス操作ボタン



PRESET (プリセット)：押して点灯させると、カメラ側でプリセットされているホワイトバランスが再現されます。

A (メモリー-A)：押して点灯させると、カメラのメモリー-Aに保存されているホワイトバランスが再現されます。

B (メモリー-B)：押して点灯させると、カメラのメモリー-Bに保存されているホワイトバランスが再現されます (DXC-D50接続時のみ有効)。

ご注意

ATW (自動追尾ホワイトバランス調整) 機能が働いているときは、ホワイトバランス操作ボタンは機能しません。

⑮ MASTER GAMMA (マスターガンマ調整) つまみ

マスターガンマを調整します。

⑯ DETAIL (ディテール調整) つまみ

ディテールレベルを調整します。

⑰ MEMORY STICK (メモリースティック) スロットとアクセ スランプ

カメラやCCUのセットアップファイル、シーンファイルなどを保存するメモリースティックをスロットに挿入します。

アクセスランプがメモリースティックの状態を表示します。

消灯：メモリースティックが挿入されていません。

緑点灯：メモリースティックが挿入されています。この状態のときはメモリースティックを安全に抜くことができます。

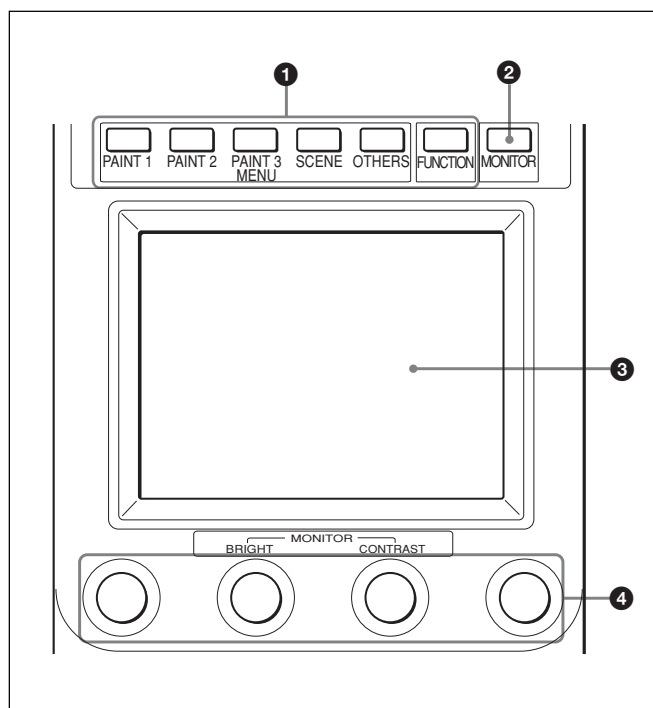
赤点灯：データの読み出し / 書き込み中です。この状態でメモリースティックを抜き差しすると、データは保証されません。全データが消えてしまうこともあります。

ご注意

メニュー操作部の液晶ディスプレイに“Check Memory Stick”と表示された場合は、空き容量があるかどうか、または正しくフォーマットされているかどうかを確認してください。

◆メモリースティックについては、56ページをご覧ください。

メニュー操作部



① MENU (メニュー選択) ボタン

メニューを選択します。

押して点灯させたボタンに対応するメニューが液晶ディスプレイに表示されます。

PAINT 1/PAINT 2/PAINT 3 (ペイント1/2/3)：ペイントメニューを選択します。

ホワイト、ブラック、フレアなどを調整します。

ペイントメニューは、接続したカメラによってページ構成が異なります。ペイント4、ペイント5がある場合は、ペイントメニュー画面(16ページ参照)の▲/▼、またはPAINT 3ボタンを押すことによって、順番に選択することができます。

SCENE (シーンファイル)：シーンファイル操作メニューを選択します。

シーンファイルの呼び出し、登録を行います。

OTHERS (その他)：OTHERSメニューを選択します。

本機の動作環境など、各種の設定を行います。

FUNCTION (ファンクション)：ファンクションメニューを選択します。

カメラの各種機能のON/OFFや設定を行います。

◆それぞれのメニューの項目については、「メニューの構成と基本操作」(15ページ)をご覧ください。

② MONITOR (モニター) ボタン

押すと、接続したカメラの画像が液晶ディスプレイに表示されます。もう1度押すと、本機の画面に戻ります。

DXC-D50接続時は、MONITORボタンを押すたびに、カメラ画像、キャラクター付きカメラ画像、本機のメニュー表示が順番に切り変わり、液晶ディスプレイに表示されます(CCU使用時は、キャラクター付きカメラ画像は表示されません)。

CCU-TX7使用時にカメラ画像が表示されない場合はソニーのサービス窓口にご相談ください。

③ LCD (液晶ディスプレイ) / タッチパネル

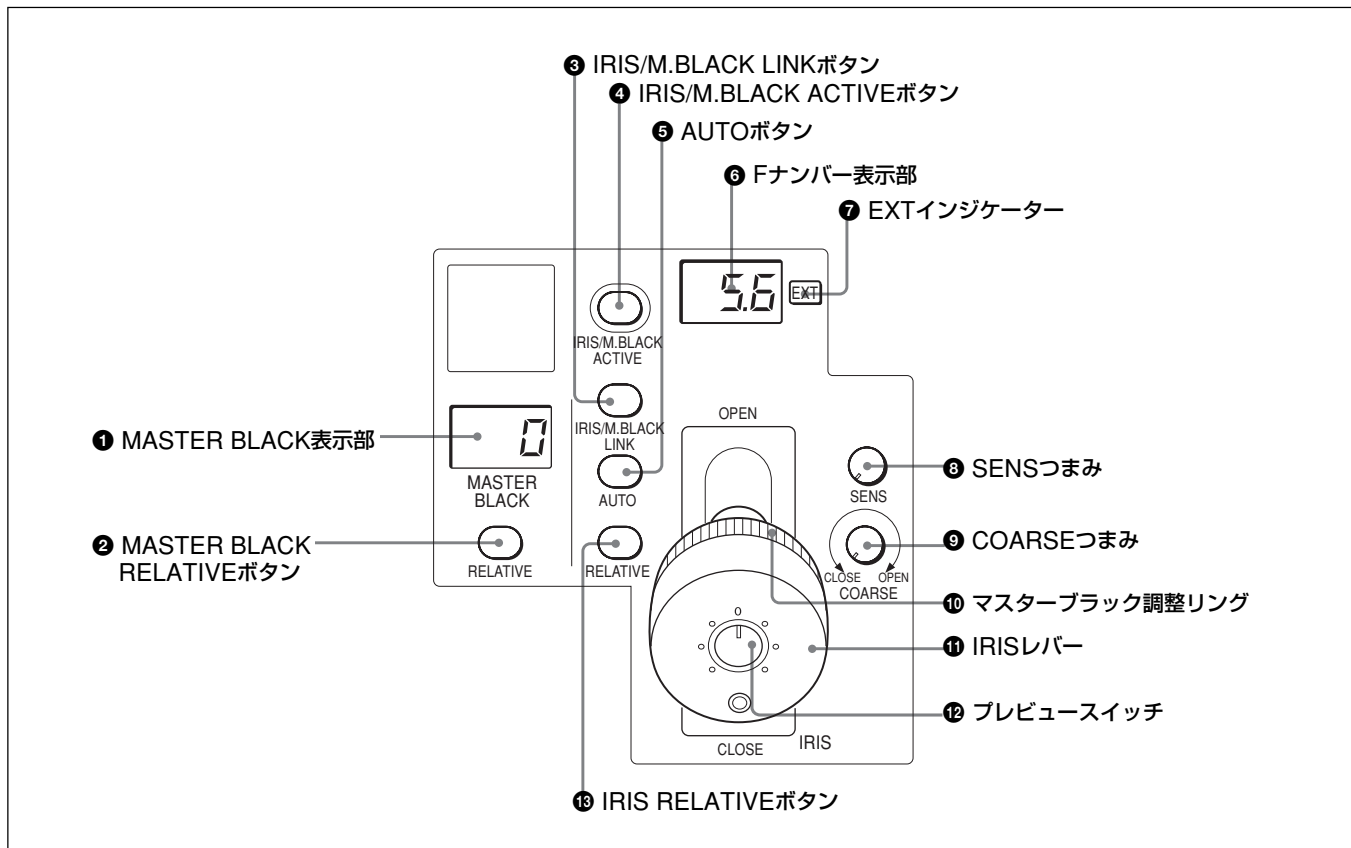
通常はステータス(16ページ参照)を表示します。

MENUボタンのいずれかを押すと対応するメニューが表示され、MONITORボタンを押すとカメラからの映像が表示されます。

④ 調整つまみ (ロータリーエンコーダー)

メニューモードでは、タッチパネルで選択した項目を調整します。液晶ディスプレイにカメラからの映像が表示されているときは(MONITORボタン点灯)、左から2番目のつまみ(BRIGHT)で画像の明るさを、左から3番目のつまみ(CONTRAST)で画像のコントラストを調整できます。

アイリス/マスターブラック調整部 (RCP-D50)



① MASTER BLACK (マスターブラック) 表示部

マスターブラックの設定を、+99～-99の範囲で表示します。

② MASTER BLACK RELATIVE (マスターブラック相対値モード) ボタン

IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタン点灯時に、このボタンを押して点灯させると、マスターブラックの調整が絶対値モードから相対値モードに切り換わります。

絶対値モードに戻すときは、もう1度ボタンを押して消灯させます。IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタン消灯時は、自動的に相対値モードになり、このボタンは機能しません。

ご注意

RCPコンフィグメニューの VR Setting で、VR STD Mode を Absolute に設定したときは、IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタンを消灯させても、相対値モードにはなりません。

また、IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタンを点灯させたときに、マスターブラック調整リングの位置に応じた値に再調整されます。

③ IRIS/M.BLACK LINK (アイリス/マスターブラックリンク) ボタン

絞りとマスターブラックの調整を、複数のカメラで連動して行うときは、このボタンを押して点灯させます。

◆詳しくは、「アイリス/マスターブラックを複数のカメラで同時に調整する」(54 ページ)をご覧ください。

④ IRIS/M.BLACK ACTIVE (アイリス/マスターブラックアクティブ) ボタン

押して点灯させると、本機で絞りとマスターブラックの調整が行えます。

PANEL ACTIVE ボタンを押すと、このボタンも同時に点灯します。消灯させるとパネルはロックされ、誤動作防止になります。

⑤ AUTO ボタン

押して点灯させると、レンズの絞りが入力光に応じて自動的に調整されます。

ボタン点灯時は、絞りの自動調整の基準値を微調整することができます。

もう1度押すと消灯し、絞りの手動調整が可能になります。

⑥ Fナンバー表示部

絞りの設定値をFナンバーで表示します。レンズをクローズすると、「CL」が表示されます。

DXC-D50を接続しているときは、F値が最大になると「OP」が表示されます。

⑦ EXT (レンズエクステンダー) インジケーター

レンズエクステンダーを使用しているとき点灯します。

⑧ SENS (アイリス調整範囲) つまみ

絶対値モードで絞りの手動調整を行うとき使用します。相対値モードでは、このつまみは機能しません。

◆「アイリス調整機能」表 (右記) を、併せてご覧ください。

⑨ COARSE (アイリス粗調整) つまみ

絞りの手動調整を行うとき使用します。

◆「アイリス調整機能」表 (右記) を、併せてご覧ください。

⑩ マスターブラック調整リング

マスターブラックの手動調整を行います。

⑪ IRIS (アイリス調整) レバー

AUTOボタン消灯時に動かすと、レンズの絞りを手動で調整できます。

AUTO ボタン点灯時は、絞りの自動調整の基準値を微調整します。

◆「アイリス調整機能」表 (右記) を、併せてご覧ください。

⑫ プレビュースイッチ

コネクターパネルのEXT I/O端子に接続した外部機器を制御するとき押します。

◆動作仕様については「コネクターパネル」(13ページ) の「③ EXT I/O (外部I/O) 端子 (9ピン)」をご覧ください。

⑬ IRIS RELATIVE (アイリス相対値モード) ボタン

IRIS/M.BLACK ACTIVEボタン点灯時にこのボタンを押して点灯させると、絞りの手動調整および自動調整の基準値調整のモードが絶対値モードから相対値モードに切り換わります。

絶対値モードに戻すときは、もう1度ボタンを押して消灯させます。

IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタン消灯時は、自動的に相対値モードになり、このボタンは機能しません。

ご注意

RCPコンフィグメニューのVR Settingで、VR STD ModeをAbsoluteに設定したときは、IRIS/M.BLACK ACTIVE ボタンを消灯させても、相対値モードにはなりません。

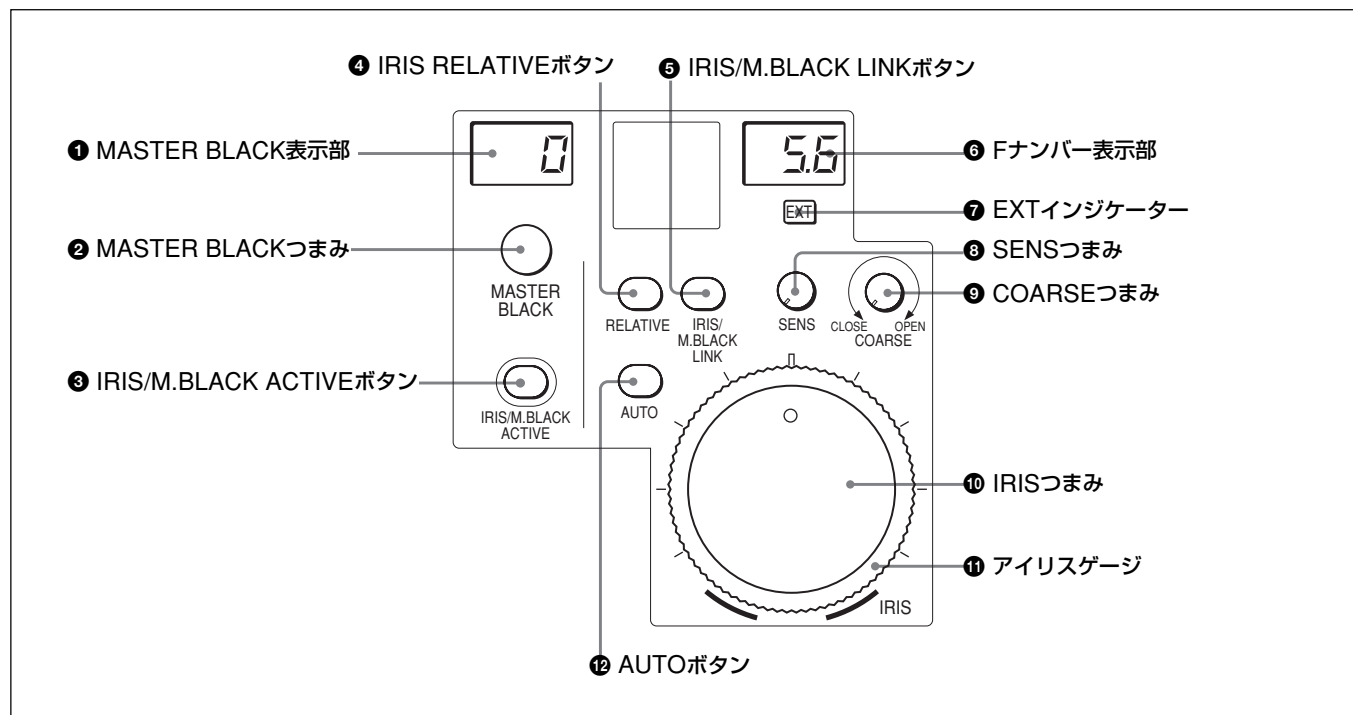
また、IRIS/M.BLACK ACTIVEボタンを点灯させたときに、IRISレバーの位置に応じた値に再調整されます。

アイリス調整機能

	相対値モード (RELATIVEボタン点灯)	絶対値モード (RELATIVEボタン消灯)
IRISレバー (RCP-D50)/ IRISつまみ (RCP-D51)	OPEN から CLOSE までの 範囲を相対値で調整 します。 ^{a)}	SENSつまみとCOARSE つまみで設定した可変範 囲内で絞りを調整します。
COARSE つまみ	OPEN から CLOSE までの 全範囲を相対値で調整し ます。	CLOSE 側の下限を設定 します。
SENSつまみ	機能しません。	COARSEつまみで設定 したCLOSE側を基準に して、OPEN側の上限を 設定します。

a) 調整範囲は、RCPコンフィグメニューVR SettingのVR Rel. Scaleで設定できます。

アイリス/マスターブラック調整部 (RCP-D51)



① MASTER BLACK (マスターブラック) 表示部

マスターブラックの設定を、+99～-99の範囲で表示します。

② MASTER BLACK (マスターブラック調整) つまみ

マスターブラックの手動調整を行います。

MASTER BLACK表示部に設定値が表示されます。

③ IRIS/M.BLACK ACTIVE (アイリス/マスターブラックアクティブ) ボタン

押して点灯させると、本機で絞りとマスターブラックの調整が行えます。

PANEL ACTIVEボタンを押すと、このボタンも同時に点灯します。また、消灯させるとパネルはロックされ、誤動作防止になります。

④ IRIS RELATIVE (アイリス相対値モード) ボタン

IRIS/M.BLACK ACTIVEボタン点灯時にこのボタンを押して点灯させると、絞りの手動調整および自動調整の基準値調整のモードが絶対値モードから相対値モードに切り換わります。

絶対値モードに戻すときは、もう1度ボタンを押して消灯させます。IRIS/M.BLACK ACTIVEボタン消灯時は、自動的に相対値モードになり、このボタンは機能しません。

ご注意

RCPコンフィグメニューのVR Settingで、VR STD ModeをAbsoluteに設定したときは、IRIS/M.BLACK ACTIVEボタンを消灯させても、相対値モードにはなりません。

また、IRIS/M.BLACK ACTIVEボタンを点灯させたときに、IRISつまみの位置に応じた値に再調整されます。

⑤ IRIS/M.BLACK LINK (アイリス/マスターブラックリンク) ボタン

絞りとマスターブラックの調整を、複数のカメラで連動して行うときは、このボタンを押して点灯させます。

◆詳しくは、「アイリス/マスターブラックを複数のカメラで同時に調整する」(54ページ)をご覧ください。

⑥ Fナンバー表示部

絞りの設定値をFナンバーで表示します。レンズをクローズすると、「CL」が表示されます。

DXC-D50を接続しているときは、F値が最大になると「OP」が表示されます。

⑦ EXT (レンズエクステンダー) インジケータ

レンズエクステンダーを使用しているとき点灯します。

⑧ SENS (アイリス調整範囲) つまみ

絶対値モードで絞りの手動調整を行うとき 사용합니다。相対値モードでは、このつまみは機能しません。

◆「アイリス調整機能」表 (11 ページ) を、併せてご覧ください。

⑨ COARSE (アイリス粗調整) つまみ

絞りの手動調整を行うとき 사용합니다。

◆「アイリス調整機能」表 (11 ページ) を、併せてご覧ください。

⑩ IRIS (アイリス調整) つまみ

AUTO ボタン消灯時は、レンズの絞りを手動調整します。

AUTO ボタン点灯時は、絞りの自動調整の基準値を微調整できます。

◆「アイリス調整機能」表 (11 ページ) を、併せてご覧ください。

⑪ アイリスゲージ

ゲージを回して使用頻度の高い位置にマーカラインを合わせておくと、アイリス調整つまみの設定基準として使用できます。

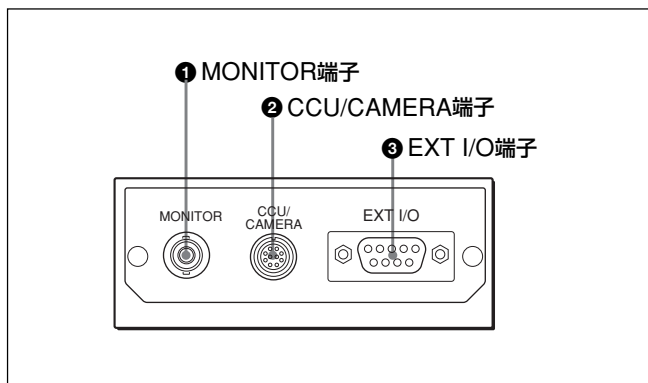
⑫ AUTO ボタン

押して点灯させると、レンズの絞りが入力光に応じて自動的に調整されます。

ボタン点灯時は、絞りの自動調整の基準値を微調整することができます。

もう1度押すと消灯し、絞りの手動調整が可能になります。

コネクターパネル



① MONITOR (モニター) 端子 (BNC型)

ビデオモニターに接続します。

② CCU/CAMERA (カメラコントロールユニット/カメラ) 端子 (10ピン)

カメラコントロールユニットまたはカメラの REMOTE 端子に接続します。

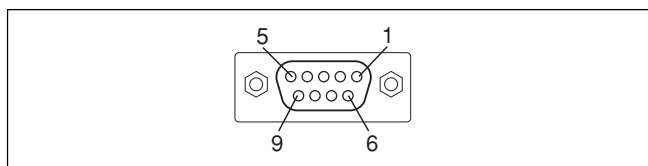
③ EXT I/O (外部I/O) 端子 (9ピン)

PREVIEW ボタン (7 ページ) またはプレビュースイッチ (11 ページ) を使って、外部機器を制御するための端子です。

動作仕様

PREVIEW ボタンまたはプレビュースイッチ (RCP-D50 のみ) を押している間、EXT I/O 端子のピン1とピン2の間がショート状態になります。

EXT I/O端子のピン配列

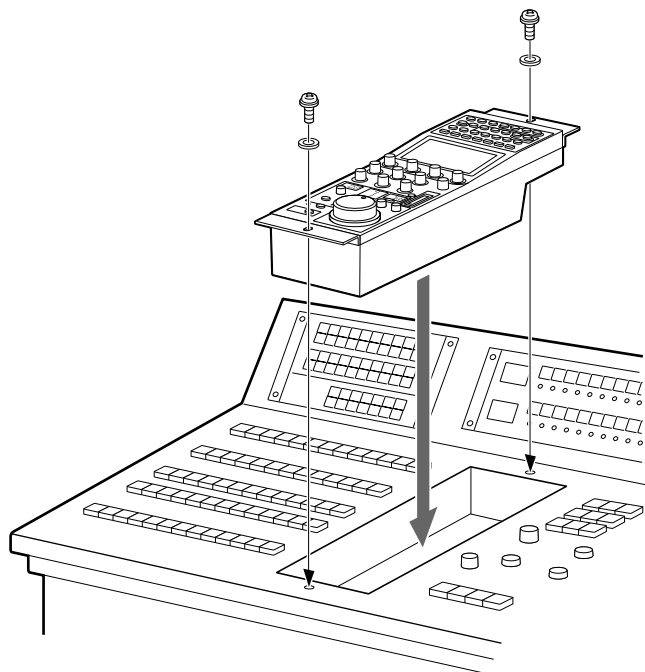


ご注意

本機を設置するときは、ケーブルの損傷を防ぐため、コネクターパネルの後方に約7 cm 以上の空間を設けてください。

コンソールへの取り付け

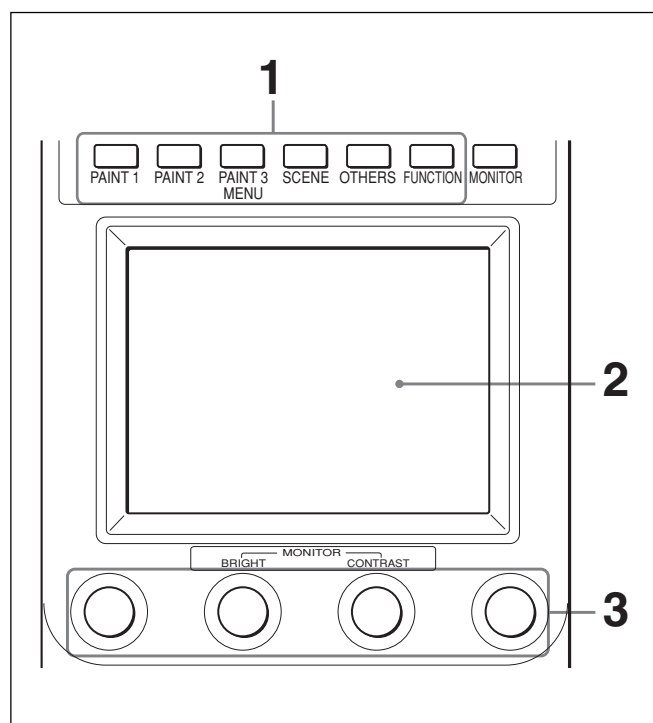
RCP-D50/D51は、下図のようにコンソールに取り付けることができます。



メニューの構成と基本操作

RCP-D50/D51では、メニュー操作により、システム機器の調整など様々な機能に対応します。

基本操作手順



1 メニューを表示させるときは、MENUボタンのいずれかを押し、点灯させる。

メニュー操作モードになり、押したMENUボタンに対応するメニューがディスプレイに表示されます。

PAINT 1/PAINT 2/PAINT 3：ペイントメニュー

SCENE：シーンファイル操作メニュー

OTHERS：OTHERSメニュー

FUNCTION：ファンクションメニュー

ご注意

表示されるメニュー項目は、接続したカメラによって異なります。

2 操作する項目を選択する。

メニュー画面の項目ボタンを押し、設定・調整画面または操作エリアを表示させます。

メニューが複数ページある場合は

ペイントメニューのようにメニューが複数ページある場合は、▲または▼を押して、必要に応じてメニューのページを切り換えます。

◆次ページ「初期画面（ペイントメニュー）」参照。

サブメニューがある場合は

ボタンを押して設定・調整画面を切り換えます。

◆17ページ「サブメニュー」参照。

3 項目を設定・調整する。

- 設定・調整項目（パラメーター）に対応するつまみを回して（またはボタンを押して）、希望の値に調整（希望の設定を選択）します。

◆17ページ「設定・調整画面」参照。

- メッセージが表示された場合は、メッセージに従って操作し、**OK**を押します。

設定・調整が終わったら

- 引き続き同じメニューの別の項目を設定・調整するときは、その項目のボタンを押します。
- 引き続き別のメニューの設定・調整を行うときは、対応するMENUボタンを押してメニューを切り換えます。
- メニュー操作モードを解除するときは、点灯しているMENUボタンを押します。
- ファンクションメニューは、現在設定・調整しているメニューを解除しないで選択することができます。

下記のいずれかの方法でファンクションメニューを解除すると、ファンクションメニューに切り換える前に表示されていたメニュー画面に戻ります。

- FUNCTIONボタンを押して消灯させる。
- 点灯している（直前に表示されていたメニューの）MENUボタンを押す。

カメラの画像をモニターするには

MONITORボタンを押します。

接続したカメラの画像がLCDに表示されます。

DXC-D50接続時は、MONITORボタンを押すたびに、カメラ画像、キャラクター付きカメラ画像、本機のメニュー表示が順番に切り換わり、LCDに表示されます（CCU使用時は、キャラクター付きカメラ画像は表示されません）。

メニュー画面の基本構成

ステータス表示

メニューやカメラ画像を選択していないときは、ディスプレイは下図のようなステータス表示になります。

ステータス表示では、各項目は状態表示のみで、設定はファンクションメニューや操作パネルのつまみで行います。

シャッタースピードとマスターゲインの設定値を表示します。ファンクションメニューで設定できます

シーンファイルを選択したときは、対応するファイル名が表示されます。

接続したカメラで選択されているNDフィルターの番号を表示します。

これらの項目は、操作パネルのWHITE、MASTER GAMMA、BLACK/FLARE、DETAIL、IRISつまみ（またはIRISレバー）で調整できます。Blackは、OTHERSメニューでFlareに変更することができます。

Status			
Shutter	M. Gain	Filter	
60	12dB	1	
Scene File : 2 DXC-D50			
	White	Gamma	Detail
0	0	0	0
	Black		Iris
0	0	0	2

初期画面（ペイントメニュー）

メニュー操作部のPAINT1（またはPAINT2、PAINT3）ボタンを押すと、ペイントメニューの初期画面になります。

ページ画面/総ページ数

設定値をクリアすることができます。

この画面で選択可能な項目の名称が表示されます。調整したい項目の部分を押すと、押した部分の色が変わり、パネルの下半分が調整画面になります（次ページ参照）。

押すと、メニューのページが順次切り換わります。

ページ画面/総ページ数				
Clear	1 / 5			▲
White	Black	Flare	Gamma / Knee	▼

設定・調整画面（ペイントメニュー）

ペイントメニューの初期画面で項目を選択すると、画面の下半分が
選択した項目の設定・調整画面になります。

例：DXC-D50接続時にPAINT1の初期画面でWhiteを選択したとき

押すと、モニター出力設定画面（19ページ参照）が上半分に表示されます。

選択した項目の調整パラメーターおよび調整値が表示されます。
それぞれに対応する位置の調整つまみで調整することができます。
[Clear]を押して調整値を押すと、調整値が標準状態に戻ります。

初期画面で選択した項目名が表示されます。
[Clear]を押してからこの部分を押すと、
選択した項目の全調整値が標準状態に戻ります。

調整に関連するON/OFF機能がある場合は、この列に表示されます。

サブメニュー

初期画面で選択した項目内で調整パラメーター等が多い場合、サブメニューが表示されます。

例：DXC-D50接続時にPAINT2の初期画面（アドバンスモード）でSkin Detailを選択したとき

サブメニュー →

↓ サブメニューで調整パラメーターを切り換えます。

WF/PIX Select

Detail 2

1 2

Crispening Level Dep

0 0

メニューの構成と基本操作

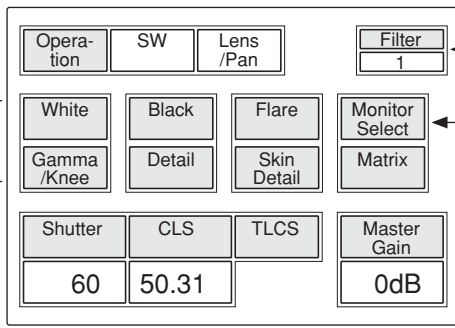
ファンクションメニュー画面

メニュー操作部のFUNCTIONボタンを押すと、ファンクションメニュー画面になります。

Operation選択時

例：DXC-D50接続時

ペイント項目の調整画面にジャンプします。項目は、OTHERSメニューで変更することもできます。(カメラにない機能や、制限されている項目へはジャンプできません。)



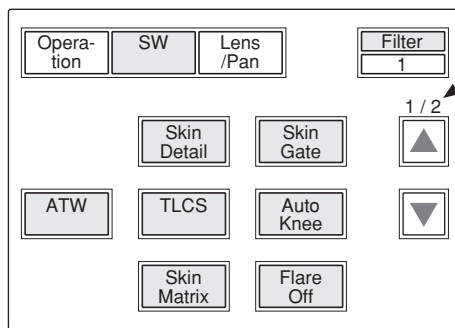
接続したカメラで選択されているNDフィルターの番号が表示されます。

押すと、モニター出力設定画面(次ページ参照)が上半分に表示されます。

対応する位置の調整つまみで調整できます。調整値が表示されます。

SW選択時

例：DXC-D35接続時



ページ番号/総ページ数

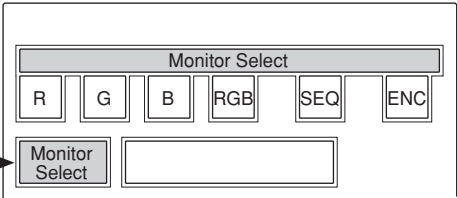
押すと、メニューのページが切り換わります。

それぞれ対応する機能をON/OFFします。Offの表示があるボタンは選択(点灯)時にその機能がOFFになり、それ以外のボタンは選択(点灯)時に機能がONになります。

モニター出力設定画面（拡張メニュー）

ペイントメニューやファンクションメニューの設定画面で **Monitor** **Select** を押して点灯させると、画面上半分にモニター出力設定画面が表示されます。

表示を戻したいときは、もう1度この項目を押してください。



The diagram shows a 'Monitor Select' menu with buttons for R, G, B, RGB, SEQ, and ENC. Below it is a 'Monitor Select' label and an empty box. An arrow points from the text '表示を戻したいときは、もう1度この項目を押してください。' to the 'Monitor Select' label.

CCU-TX7接続時に、CCU-TX7のWF/PIX出力を切り換えます。

R/G/B：それぞれR信号、G信号、B信号を選択します。

RGB：R信号、G信号、B信号を組み合わせて選択できます。

SEQ：WF出力のみ有効で、R、G、Bの3つの信号の波形をシーケンシャルモードでモニターすることができます。

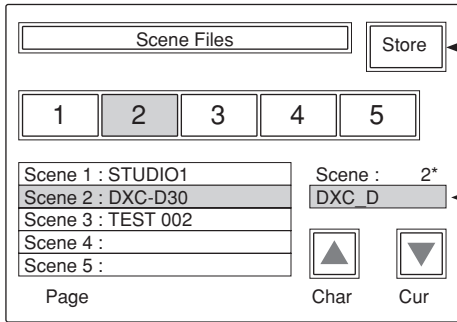
ENC：エンコードされた信号が出力されます。

シーンファイル操作メニュー画面

メニュー操作部の SCENE ボタンを押すと、シーンファイル操作メニュー画面になります。

シーンファイル呼び出しボタン：
▲/▼または左端のつまみ
(Page) で1~20を切り換える
ことができます。

ファイルリスト



The diagram shows a 'Scene Files' menu with a 'Store' button, a row of buttons numbered 1 to 5, a list of scene names (Scene 1: STUDIO1, Scene 2: DXC-D30, Scene 3: TEST 002, Scene 4:, Scene 5:), a 'Page' label, a 'Scene:' label with a value of '2*', a 'Char' button with an up arrow, and a 'Cur' button with a down arrow. Arrows point from the text labels to the corresponding elements in the menu.

シーンファイル登録ボタン

ファイル名入力ボックス：
右から2番目のつまみ (Char) と右端のつまみ (Cur) を使ってファイル名を入力します。

◆シーンファイルの操作について詳しくは、50 ページをご覧ください。

DXC-D50接続時のメニュー項目

操作/調整項目欄で●が付いている項目は調整つまみに割り当てられる項目、それ以外の項目は、メニュー画面上で操作する項目です。

表示される項目はノーマルモードとアドバンスモードで異なります。以下の表に [] で記載されている項目は、アドバンスモードでのみ表示されます。

ノーマルモードとアドバンスモードの切り換えは、OTHERSメニューの RCP Config (Security → Status) で行います。

ペイントメニュー (DXC-D50接続時)

ペイントメニューはページ1～5で構成されています。

ページ1～3は、MENUボタンのPAINT1、PAINT2、PAINT3を押して直接選択することができます。MENUボタンで選択したページの▲/▼を押すことによって、ページ1～5を順次切り換えることができます。

Paint 4およびPaint 5はPAINT3ボタンを押すことによって、選択することもできます。

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 1	White		White Preset	カメラでプリセットされたホワイトバランスを再現
			Memory A	メモリーAに保存されたホワイトバランスを再現。再現後はオートまたはマニュアルで調整可能（調整値はメモリーAに保存される）
			Memory B	メモリーBに保存されたホワイトバランスを再現。再現後はオートまたはマニュアルで調整可能（調整値はメモリーBに保存される）
			ATW	Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス)調整機能(照明条件の変化に応じてホワイトバランスを自動調整する機能)をON/OFF
			●R	Memory AまたはMemory Bを押したとき、ホワイトのR信号のゲインを調整
			●B	Memory AまたはMemory Bを押したとき、ホワイトのB信号のゲインを調整
	Black		●R	ブラックのR信号のゲインを調整
			●B	ブラックのB信号のゲインを調整
			●Master	マスターブラックを調整
	Flare		Flare Off	フレア（光が入っているときの黒レベル）補正機能をON/OFF
			●R	R信号のフレアの補正量を調整
			●G	G信号のフレアの補正量を調整
			●B	B信号のフレアの補正量を調整
	Gamma/Knee		Auto Knee	オートニー回路をON/OFF
			●Gamma	ガンマレベルを調整
			●Blk Gamma	ブラックガンマレベルを調整
			●Knee Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいかほど開始点のレベルが低い（ニーの効果が強い）。
			●Knee Slope	ニースロープ（ニー補正量）を調整
Paint 2	Detail	Detail 1	●Level	ディテール（輪郭補正）レベルを調整
			●H/V Ratio	ディテール補正のH(水平)/V(垂直)比率を調整。値が大きいかほどVの比率が高い。
			●Frequency	ディテール補正のブースト周波数（輪郭の太さ）を調整
		Detail 2	●Crispening	クリスピングレベル（ノイズ部分のディテールを除去するための適正レベル）を調整
			●Level Dep	レベルディペンド（ディテール信号を抑圧し始めるレベル）を調整

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 2（続き）	Cross Color		● CCS Level	クロスカラーサブレスレベルを調整（細かい縞模様を撮影すると、色がちらついたり、色がついてしまう現象を抑える）
	Skin Detail		Detail Gate	スキングートエリア（スキنديテール補正やスキンマトリクス調整の対象となる色の範囲）表示をON/OFF
			Skin DTL	スキنديテール（選択範囲の輪郭補正を抑える）機能をON/OFF
			Auto Skin	押すとスタンバイ状態になり、Startを押すとスキングートエリアの自動取り込みを開始
			● Level	スキنديテールの補正量を調整。数字が大きいほどスキングートエリア内のディテール量小さくなる
			● Phase	指定したエリアの色相を調整
			● Width	指定したエリアの色相幅を調整
			● Sat	指定したエリアの色の飽和度を調整
	Black Gamma		● R	ブラックガンマのR信号のレベルを調整
			● B	ブラックガンマのB信号のレベルを調整
			● Master	マスターブラックガンマを調整
Paint 3	Knee/DL		Auto Knee	オートニーをON/OFF
			● Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い（ニーの効果が強い）
			● Slope	ニースロープ（ニー補正量）を調整
	Gamma		● R	ガンマのR信号のレベルを調整
			● B	ガンマのB信号のレベルを調整
			● Master	マスターガンマを調整
	Matrix	Matrix 1	● Hue	リニアマトリクスの色合いを調整
			● Sat	リニアマトリクスの色の飽和度を調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択 STD：標準 FL：蛍光灯下での撮影用 High Sat：ハイスチュレーション（色を強調する）
		Matrix 2	● R-G/● G-B/● B-R	マトリクスのR-G成分、G-B成分、B-R成分の色調の調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択
		Matrix 3	● R-B/● G-R/● B-G	マトリクスのR-B成分、G-R成分、B-G成分の色調の調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択
	Skin Matrix		Skin Matrix	スキンマトリクス機能をON/OFF
			● Hue	指定したエリアの色合いを調整
			● Sat	指定したエリアの色の飽和度を調整
Paint 4	White Clip		● Master	ホワイトクリップ量を調整（白レベルの高いところを調整する）。数字が大きいほど出力が低くなる
	TLCS		TLCS	TLCS（トータルレベルコントロール）機能をON/OFF
			● AGC/C.Point	アイリス調整をAGC（オートゲインコントロール）に切り換えるF値（F2/F2.8/F4/F5.6）を設定
			● AGC/Limit	AGC調整の上限値（3 dB/6 dB/9 dB/12 dB/18 dB）を設定
			● AE/C.Point	アイリス調整をAE（電子シャッター）に切り換えるF値（F5.6/F8/F11/F16）を設定
			● AE/Limit	AE調整の上限値（100/150/200/250）を設定
	Auto Iris		STD	標準オートアイリスモードを選択
			Spot Light	スポット光撮影用のオートアイリスモードを選択
			Back Light	逆光撮影用のオートアイリスモードを選択

メニューの構成と基本操作

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 4 (続き)	CLS/EVS		TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能 のON/OFF
			Shutter	シャッター機能 のON/OFF
			CLS	CLS (クリアスキャン) 機能 (パソコンのモニターなどを撮影したときに出る横線上のノイズを軽減する機能) のON/OFF
			EVS	EVS モード (垂直解像度を上げてフリッカーを減らす) モードのON/OFF
			●Shutter	シャッタースピードを選択
			●CLS	CLS周波数を調整
Paint 5	Low Key Sat	●Level	Low Key サチュレーションレベル調整	
	Auto Knee	Adaptive	ニー補正の折れ曲がりを滑らかにして階調を自然にする機能のON/OFF	

ファンクションメニュー (DXC-D50接続時)

メニュー	操作/調整項目	機能
Operation	Jump menu 1	Menu Set ^{a)} で Menu 1に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の White)
	Jump menu 2	Menu Set ^{a)} で Menu 2に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Black)
	Jump menu 3	Menu Set ^{a)} で Menu 3に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Flare)
	Jump menu 4	Menu Set ^{a)} で Menu 4に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Gamma/Knee)
	Jump menu 5	Menu Set ^{a)} で Menu 5に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Detail)
	Jump menu 6	Menu Set ^{a)} で Menu 6に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Skin Detail)
	Jump menu 7	Menu Set ^{a)} で Menu 7に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント3の Matrix)
	Shutter	シャッター機能を ON/OFF
	●Shutter	シャッタースピードを選択
	CLS	CLS (クリアスキャン) 機能を ON/OFF
	●CLS	CLS周波数を選択
	TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能を ON/OFF
	●Master Gain	マスターゲイン値を-3/0/3/6/9/12/18/24/30/36 dBから選択
SW	5600K	色温度 5600Kを ON/OFF
	Skin Detail	スキディテール機能を ON/OFF
	Detail Gate	スキディテールゲートエリア (スキディテール補正やスキマトリクス調整の対象となる色の範囲) 表示を ON/OFF
	ATW	Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス) 調整機能 (照明条件の変化に応じてホワイトバランスを自動調整する機能) を ON/OFF
	TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能を ON/OFF
	Auto Knee	オートニー機能を ON/OFF
	Skin Matrix	スキマトリクス機能を ON/OFF
	Flare Off	フレア補正機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
Lens/Pan ^{b)}	Option 1	オプションコントロール機能1を ON/OFF
	Option 2	オプションコントロール機能2を ON/OFF
	●Focus ^{c)}	フォーカスを調整
	●Zoom ^{c)}	ズームを調整
	●Pan ^{d)}	雲台をパン調整
	●Tilt ^{d)}	雲台をチルト調整

a) Menu Setは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityから選択できます。

b) Lens/Panは、SecurityのStatusでPan/Tilt EnableをOnにすると表示されます。

c) 本機からレンズをコントロールするには、別売りのフォーカスズームサーボユニットおよびカメラアダプターとレンズとのインターフェースユニットが必要です。

d) 本機から雲台をコントロールするには、電動の雲台およびカメラアダプターと雲台とのインターフェースユニットが必要です。

OTHERSメニュー（DXC-D50接続時）

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Adjusting	White Shading		●R	R信号のVホワイトシェーディング(縦方向の白のばらつき)を調整
			●G	G信号のVホワイトシェーディングを調整
			●B	B信号のVホワイトシェーディングを調整
Camera Config	Camera ID		CAM ID IND	カメラがカラーバーモードのときのカメラID表示をON/OFF
			Clock IND	時計表示の切り換え Cam: 常時表示 Bars: カラーバー出力時のみ表示 Off: 表示しない
			●Char	カメラID入力時の文字選択(英数字、記号、スペース)
			●Cur	カメラID入力時のカーソル移動(全8桁)
			ID SET	入力したカメラIDを登録
	Center Marker		Center Marker	センターマーカをON/OFF
			Safety Zone	セーフティゾーンを設定(90%/80%/OFF)
	Screen Mode ^{a)}		Screen Mode	スクリーンモードの選択(4:3/16:9)
	Diag		Req	カメラの自己診断データを読み込む(自己診断で異常が検出されたときのみ有効)
			Reset	カメラの自己診断データを消去
		●Sel		読み込んだデータを順番に表示(自己診断で異常が検出されなかったときは何も表示されない)
	Bars		Bars Type	カラーバー信号の種類を選択: SMPTE (SPLIT) /SNG/FF 75%/FF 100%
File	Scene Trans		CAM -> MS	シーンファイルを転送(カメラからメモリースティック)
			MS -> CAM	シーンファイルを転送(メモリースティックからカメラ)
	Copy to Slave			マスター機の状態をスレーブ機へコピー
RCP Config	RCP Adjusting	Buzzer Volume	●Call	コールブザーの音量を設定
			●Touch	タッチパネルの反応音量を設定
			●Switch	照光スイッチの確認音量を設定
			●Master	全体の音量を設定
			Call Buzzer	コールブザーをON/OFF
			Touch Click	タッチパネル音をON/OFF
			SW Click	スイッチ音をON/OFF
			All Off	全ブザー音をON/OFF
		LED Bright	●Switch	各LEDの明るさを設定
			●Tally	
			●Other	
			●Master	全体の明るさを設定
	RE Setting		BLACK/FLARE	BLACK/FLAREつまみの機能を選択 Black: ブラックバランス調整 Flare: フレアバランス調整
	VR Setting		VR STD Mode	IRIS, MASTER BLACKの調整モードの初期設定を選択 Absolute: 絶対値モード Relative: 相対値モード
			VR Rel. Scale IRIS VR	IRISつまみの効き具合(相対値調整比: 1/1, 1/2, 1/4)の選択。 1/1が最も効きがよい
			M. Black VR	MASTER BLACKつまみの効き具合(相対値調整比: 1/1, 1/2, 1/4)の選択(RCP-D50のみ有効)。1/1が最も効きがよい

a) Screen Modeは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityのStatusでScreen Md EnableをOnにすると表示されます。

メニューの構成と基本操作

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Information			本機のソフトウェアバージョンを表示
	Cable Comp		Cable Length	リモートケーブル長 (5M/25M/50M) の設定
	SW Setting		● SW Assign/Sel	ASSIGN ボタンへの機能の割り当て No Assign：割り当てなし Black/Flare：BLACK/FLARE つまみの機能切り換え Black Auto：オートブラックの ON/OFF (機能しない) ATW：自動追尾ホワイトバランスの ON/OFF TLCS：トータルレベルコントロール機能の ON/OFF DynaLatitude：ダイナラチチュード機能の ON/OFF (機能しない)
	CAM No.		CAM ID -> No.	本機のカメラナンバー / タリー表示部の切り換え (カメラIDまたはカメラ番号)
			● No.	RCPに表示するカメラ番号の選択
	Date/Time Set	Date	● Year	本機内蔵の時計の日付合わせ
			● Month	
			● Day	
			Set	
			Cancel	
		Time	● Hour	本機内蔵の時計の時刻合わせ
			● Minute	
			● Second	
			Set	
			Cancel	
	Comm Link		Gain	ゲインのコマンドリンク (複数のカメラで連動して行う機能) を ON/OFF
			Shutter	シャッター設定のコマンドリンクを ON/OFF
		R/B White	ホワイト R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF	
		R/B Black	ブラック R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF	
		R/G/B Flare	フレア R/G/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF	
Comm Type		Protocol Type ^{a)}	接続モードの設定 P Type 2: DXC-D35、DXC-D50、CCU-TX7、CCU-D50、DSR-300/370/390/500/570に接続する場合 P Type 7: CCU-TX50に接続する場合	

a) Protocol Type の設定を変更した後は、必ずカメラシステムの電源を一度 OFF にしてから再度 ON にしてください。

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Security	Engineer Mode		Status、Menu Set、Code Noの表示 / 非表示の設定 (Engineer Mode On時はAdvance Modeの状態に関係なく、すべての操作可能なメニューを表示)
		Status ^{a)}	Advance Mode	メニューのノーマルモード / アドバンスモードの切り換え
			Screen Md Enable	4:3と16:9の切り換えを許可するかどうかを設定
			Pan/Tilt Enable	パン / チルト調整を許可するかどうかを設定
			Power On Active	本機立ち上げ時のパネルアクティブ、アイリス / マスターブラックアクティブの状態を設定 Full Active : 本機立ち上げ時にパネルアクティブにする IRIS/M.Black : 本機立ち上げ時にアイリス / マスターブラックアクティブにする Lock : 本機立ち上げ時にパネルロック状態にする Keep state : 本機立ち上げ時に前回の状態で立ち上げる
			Panel Active Lock	暗証番号によるパネルアクティブロック機能を使用するかどうかを設定 Disable: パネルアクティブロック機能を使用しない Enable: 新しい暗証番号を設定してパネルアクティブロック機能を使用する Enable(Engineer Code): エンジニアモードと同じ暗証番号でパネルアクティブロック機能を使用する
			Code Change	パネルアクティブロックの暗証番号を変更 (パネルアクティブロックの暗証番号設定時のみ表示)
		Menu Set ^{a)}		ファンクションメニューに表示させる項目の選択。 ●Curで場所 (1～7)を選択し、●Selで項目を選択する。 White、Black、Flare、Gamma/Knee、Detail、Cross Color、Skin Detail、Black STR、Black Gamma、Knee/DL、Gamma、Matrix、Skin Matrix、White Clip、TLCS、Auto Iris、CLS/EVS、Auto Knee、Low Key Sat、ジャンプなし
		Code No. ^{a)}	Code No.	エンジニアモードの暗証番号の設定 / 解除
			Code Change	エンジニアモードの暗証番号を変更 (エンジニアモードの暗証番号設定時のみ表示)
LCD	LCD Brightness/Contrast		●Bright	本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
LCD Moni.	LCD Monitor Brightness/Contrast		●Bright	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
Memory Stick	Memory Stick		Format	メモリースティックのフォーマット

a) Status、Menu Set、Code NoはEngineer Mode On時のみ表示されます。

DXC-D30/D35接続時のメニュー項目

操作/調整項目欄で●が付いている項目は調整つまみに割り当てられる項目、それ以外の項目は、メニュー画面上で操作する項目です。

表示される項目はノーマルモードとアドバンスモードで異なります。以下の表に□で記載されている項目は、アドバンスモードでのみ表示されます。

ノーマルモードとアドバンスモードの切り換えは、OTHERSメニューのRCP Config (Security → Status)で行います。

ペイントメニュー (DXC-D30/D35接続時)

ペイントメニューはページ1～4で構成されています。

ページ1～3は、MENUボタンのPAINT1、PAINT2、PAINT3を押して直接選択することができます。MENUボタンで選択したページの▲/▼を押すことによって、ページ1～4を順次切り換えることができます。

Paint 4はPAINT3ボタンを押すことによって、選択することもできます。

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 1	White	White Preset		カメラでプリセットされたホワイトバランスを再現
		Auto		自動ホワイトバランス調整モードを選択
		Manual		マニュアルホワイトバランス調整モードを選択
		ATW		Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス) 調整機能 (照明条件の変化に応じてホワイトバランスを自動調整する機能) を ON/OFF
		●R		Manualを押したとき、ホワイトのR信号のゲインを調整
		●B		Manualを押したとき、ホワイトのB信号のゲインを調整
	Black	Auto		自動ブラックバランス調整モードを選択
		Manual		マニュアルブラックバランス調整モードを選択
		●R		ブラックのR信号のゲインを調整
		●B		ブラックのB信号のゲインを調整
		●Master		マスターブラックを調整
	Flare	Flare Off		フレア (光が入っているときの黒レベル) 補正機能を ON/OFF
		●R		R信号のフレアの補正量を調整
		●G		G信号のフレアの補正量を調整
		●B		B信号のフレアの補正量を調整
	Gamma/Knee	DL		ダイナラチチュード (明るい部分と暗い部分の被写体のレベルを検出して、両方のコントラストが適切になるように自動的に設定する機能) を ON/OFF
		Knee Preset		プリセットされたニー補正值を使用するモードを ON/OFF
		Auto Knee		オートニー回路を ON/OFF
		●Gamma		ガンマレベルを調整
		●Knee Point		ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い (ニーの効果が強い)。
		●Knee Slope		ニースロープ (ニー補正量) を調整

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 2	Detail	Detail 1	●Level	ディテール（輪郭補正）レベルを調整
			●H/V Ratio	ディテール補正のH(水平)/V(垂直)比率を調整。値が大きいほどVの比率が高い。
			●Frequency	ディテール補正のブースト周波数（輪郭の太さ）を調整
			●V-Limit	縦方向のディテールのリミット値を調整
		Detail 2	●Crispening	クリスプニングレベル（ノイズ部分のディテールを除去するための適正レベルを調整
			●Level Dep	レベルディペンド（ディテール信号を抑圧し始めるレベル）を調整
			●High L.	ハイライトディテール（高輝度部分につくディテール）の抑制量を調整
			●AFT GAM	ガンマ補正後に付加するディテール量を調整
		Detail 3	Aperture	アパーチャー補正をON/OFF
			Knee Apert	ニーポイントより高いレベルに対するディテール補正をON/OFF
			●Aperture	アパーチャー補正量を調整
			●Knee Apert	ニーポイントより高いレベルに対するディテール補正量を調整
	Cross Color		Comb Filter R	ディテールのコム（くし型）フィルターRED（赤）をON/OFF。OFFにすると、クロスカラーは増加するが、透明感のある画像が得られる。
			Comb Filter G	ディテールのコム（くし型）フィルターGRN（緑）をON/OFF。OFFにすると、クロスカラーは増加するが、透明感のある画像が得られる。
			●CCS Level	クロスカラーサブレスレベルを調整（細かい縞模様を撮影すると、色がちらついたり、色がついてしまう現象を抑える）
	Skin Detail	Skin Detail 1	Detail Gate	スキングートエリア（スキنديテール補正やスキンマトリクス調整の対象となる色の範囲）表示をON/OFF
			Skin DTL	スキنديテール（選択範囲の輪郭補正を抑える）機能をON/OFF
			Auto Skin	押すとスタンバイ状態になり、Startを押すとスキングートエリアの自動取り込みを開始
			●Level	スキنديテールの補正量を調整。数字が大きいほどスキングートエリア内のディテール量か小さくなる
			●Size	スキングートの範囲を調整（R-Y、B-Y方向に同時に同量ずつ変化する）
			●R-Y	スキングートのR-Y方向の範囲調整
			●B-Y	スキングートのB-Y方向の範囲調整
		Skin Detail 2	Skin Gate	スキングートエリア表示をON/OFF
			Skin DTL	スキنديテール機能をON/OFF
			Auto Skin	押すとスタンバイ状態になり、Startを押すとスキングートエリアの自動取り込みを開始
			●Level	スキنديテールレベル調整
			●Posi	スキنديテールゲートの位置を調整（R-Y、B-Y方向に同時に同量ずつ変化する）
			●R-Y	スキنديテールゲートのR-Y方向の位置を調整
			●B-Y	スキنديテールゲートのB-Y方向の位置を調整
	Black STR	Black Stretch 1	●Level	ブラックストレッチレベルを調整
			●Stretch Level/Point 1	ブラックストレッチが機能する信号レベルの上限値を調整
			●Stretch Level/Point 2	ブラックストレッチが機能する信号レベルの下限値を調整

メニューの構成と基本操作

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 2 (続き)	Black STR (続き)	Black Stretch 2	● Level	ブラックストレッチレベル調整
			● Compress Level/Point 1	ブラックコンプレスが機能する信号レベルの上限値を調整
			● Compress Level/Point 2	ブラックコンプレスが機能する信号レベルの下限値を調整
Paint 3	Knee/DL		DL	ダイナラチチュード（明るい部分と暗い部分の被写体のレベルを検出して、両方のコントラストが適切になるように自動的に設定する機能）を ON/OFF
			Knee Preset	プリセットされたニー補正値を使用するモードを ON/OFF
			Auto Knee	オートニーを ON/OFF
			● DL	ダイナラチチュードの効果の度合い（Low/STD/High）を選択
			● Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い（ニーの効果強い）
			● Slope	ニースロープ（ニー補正量）を調整
	Gamma		● Master	マスターガンマを調整
			Init 3.5	低輝度部分のガンマカーブの立ち上がりを3.5にする
			Init 4.0	低輝度部分のガンマカーブの立ち上がりを4.0にする
			● R	ガンマのR信号のレベルを調整
			● B	ガンマのB信号のレベルを調整
	Matrix	Matrix 1	Matrix Off	マトリックスの ON/OFF
			● Hue	リニアマトリックスの色合いを調整
			● Sat	リニアマトリックスの色の飽和度を調整
		Matrix 2	● R-B/● G-R/● B-R	マトリックスの R-G 成分、G-B 成分、B-R 成分の色調の調整
		Matrix 3	● R-B/● G-R/● B-G	マトリックスの R-B 成分、G-R 成分、B-G 成分の色調の調整
	Skin Matrix		Skin Matrix	スキンマトリックス機能を ON/OFF
			● Hue	指定したエリアの色合いを調整
			● Sat	指定したエリアの色の飽和度を調整
Paint 4	White Clip		● Master	ホワイトクリップ量を調整（白レベルの高いところを調整する）。数字が大きいほど出力が低くなる
	TLCS		TLCS	TLCS（トータルレベルコントロール）機能を ON/OFF
			● AGC/C.Point	アイリス調整を AGC（オートゲインコントロール）に切り換える F 値（F2/F2.8/F4/F5.6）を設定
			● AGC/Limit	AGC 調整の上限値（3 dB/6 dB/9 dB/12 dB/18 dB）を設定
			● AE/C.Point	アイリス調整を AE（電子シャッター）に切り換える F 値（F5.6/F8/F11/F16）を設定
	Auto Iris		STD	標準オートアイリスモードを選択
			Spot Light	スポット光撮影用のオートアイリスモードを選択
			Back Light	逆光撮影用のオートアイリスモードを選択
			AI	インテリジェントオートアイリスモードを選択 ^{a)}
	CLS/EVS		TLCS	TLCS（トータルレベルコントロール）機能の ON/OFF
			Shutter	シャッター機能の ON/OFF
			CLS	CLS（クリアスキャン）機能（パソコンのモニターなどを撮影したときに出る横線上のノイズを軽減する機能）の ON/OFF
			EVS	EVS モード（垂直解像度を上げてフリッカーを減らす）モードの ON/OFF
			● Shutter	シャッタースピードを選択
			● CLS	CLS 周波数を調整

a) AI 機能対応機種のみ

ファンクションメニュー (DXC-D30/D35接続時)

メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Operation		Jump menu 1	Menu Set ^{a)} で Menu 1に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の White)
		Jump menu 2	Menu Set ^{a)} で Menu 2に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Black)
		Jump menu 3	Menu Set ^{a)} で Menu 3に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Flare)
		Jump menu 4	Menu Set ^{a)} で Menu 4に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Gamma/Knee)
		Jump menu 5	Menu Set ^{a)} で Menu 5に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Detail)
		Jump menu 6	Menu Set ^{a)} で Menu 6に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Skin Detail)
		Jump menu 7	Menu Set ^{a)} で Menu 7に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント3の Matrix)
		Shutter	シャッター機能を ON/OFF
		●Shutter	シャッタースピードを選択
		CLS	CLS (クリアスキャン) 機能を ON/OFF
		●CLS	CLS周波数の選択
		TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能の ON/OFF
		●Master Gain	マスターゲイン値を-3/0/3/6/9/12/18/18+DPR/24/24+DPR/HYPER Gainから選択
SW	page 1	Skin Detail	スキنديテール機能を ON/OFF
		Detail Gate	スキングートエリア (スキントーンに設定した色の範囲) 表示を ON/OFF
		ATW	自動追尾ホワイトバランス (オートレーシングホワイト) 機能を ON/OFF
		TLCS	トータルレベルコントロールを ON/OFF
		Auto Knee	オートニー回路を ON/OFF
		Skin Matrix	スキンマトリックス機能を ON/OFF
		Flare Off	フレア補正機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
	page 2	Knee Aperture	ニーポイントより高いレベルに対するディテール補正を ON/OFF
		Aperture	アパーチャ補正を ON/OFF
		DL	ダイナラチチュード (明るい部分と暗い部分の被写体のレベルを検出して、両方のコントラストが適切になるように自動的に設定する機能) を ON/OFF
		White Clip Off	ホワイトクリップ機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
		Detail Off	ディテール調整機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
		Gamma Off	ガンマ調整機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
		Matrix Off	リニアマトリックス調整機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
Lens/Pan ^{b)}		Option 1	オプションコントロール機能1を ON/OFF
		Option 2	オプションコントロール機能2を ON/OFF
		●Focus ^{c)}	フォーカスを調整
		●Zoom ^{c)}	ズームを調整
		●Pan ^{d)}	雲台をパン調整
		●Tilt ^{d)}	雲台をチルト調整

a) Menu Setは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityから選択できます。

b) Lens/Panは、SecurityのStatusでPan/Tilt EnableをOnにすると表示されます。

c) 本機からレンズをコントロールするには、別売りのフォーカスズームサーボユニットおよびカメラアダプターとレンズとのインターフェースユニットが必要です。

d) 本機から雲台をコントロールするには、電動の雲台およびカメラアダプターと雲台とのインターフェースユニットが必要です。

OTHERSメニュー (DXC-D30/D35接続時)

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Adjusting	White Shading		●R	R信号のVホワイトシェーディング(縦方向の白のばらつき)を調整
			●G	G信号のVホワイトシェーディングを調整
			●B	B信号のVホワイトシェーディングを調整
Camera Config	Camera ID		CAM ID IND	カメラがカラーバーモードのときのカメラID表示をON/OFF
			Clock IND	時計表示の切り換え Cam: 常時表示 Bars: カラーバー出力時のみ表示 Off: 表示しない
			●Char	カメラID入力時の文字選択 (英数字、記号、スペース)
			●Cur	カメラID入力時のカーソル移動 (全8桁)
			ID SET	入力したカメラIDを登録
	Center Marker		Center Marker	センターマーカをON/OFF
			Safety Zone	セーフティゾーンを設定 (90%/80%/OFF)
	Screen Mode ^{a)}		Screen Mode	スクリーンモードを選択 (4:3/16:9)
	Diag		Req	カメラの自己診断データを読み込む (自己診断で異常が検出されたときのみ有効)
			Reset	カメラの自己診断データを消去
			●Sel	読み込んだデータを順番に表示 (自己診断で異常が検出されなかったときは何も表示されない)
	Bars		Bars Type	カラーバー信号の種類を選択: SMPTE(SPLIT)/SNG/FF 75%/FF 100%
File	Setup File			セットアップファイルの読み出し・保存
	Copy to Slave			スレーブ機へシーンファイルをコピー
RCP Config	RCP Adjusting	Buzzer Volume	●Call	コールブザーの音量を設定
			●Touch	タッチパネルの反応音量を設定
			●Switch	照光スイッチの確認音量を設定
			●Master	全体の音量を設定
			Call Buzzer	コールブザーをON/OFF
			Touch Click	タッチパネル音をON/OFF
			SW Click	スイッチ音をON/OFF
			All Off	全ブザー音をON/OFF
		LED Bright	●Switch	各LEDの明るさを設定
			●Tally	
			●Other	
			●Master	全体の明るさを設定
	RE Setting		BLACK/FLARE	BLACK/FLAREつまみの機能を選択 Black: ブラックバランス調整 Flare: フレアバランス調整
	VR Setting	VR STD Mode		IRIS、MASTER BLACKの調整モードの初期設定を選択 Absolute: 絶対値モード Relative: 相対値モード
		VR Rel. Scale IRIS VR		IRISつまみの効き具合 (相対値調整比: 1/1、1/2、1/4) の選択。 1/1が最も効きがよい
		M. Black VR		MASTER BLACKつまみの効き具合 (相対値調整比: 1/1、1/2、1/4) の選択 (RCP-D50のみ有効)。1/1が最も効きがよい
	Information			本機のソフトウェアバージョンを表示

a) Screen Modeは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityのStatusでScreen Md EnableをOnにすると表示されます。

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Cable Comp		Cable Length	リモートケーブル長 (5M/25M/50M) の設定
	SW Setting		● SW Assign/Sel	ASSIGN ボタンへの機能の割り当て No Assign ; 割り当てなし Black/Flare : BLACK/FLARE つまみの機能切り換え Black Auto : オートブラックの ON/OFF ATW : 自動追尾ホワイトバランスの ON/OFF TLCS : トータルレベルコントロール機能の ON/OFF DynaLatitude : ダイナラチチュード機能の ON/OFF
	CAM No.		CAM ID -> No.	本機のカメラナンバー / タリー表示部の切り換え (カメラIDまたはカメラ番号)
			● No.	カメラ番号の選択
	Date/Time Set	Date	● Year	本機内蔵の時計の日付合わせ
			● Month	
			● Day	
			Set	
			Cancel	
		Time	● Hour	本機内蔵の時計の時刻合わせ
			● Minute	
			● Second	
			Set	
			Cancel	
	Comm Link		Gain	ゲインのコマンドリンク (複数のカメラで連動して行う機能) を ON/OFF
			Shutter	シャッター設定のコマンドリンクを ON/OFF
			R/B White	ホワイト R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
			R/B Black	ブラック R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
			R/G/B Flare	フレア R/G/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
	Comm Type		Protocol Type ^{a)}	接続モードの設定 P Type 2: DXC-D35、DXC-D50、CCU-TX7、CCU-D50、DSR-300/370/390/500/570 に接続する場合 P Type 7: CCU-TX50 に接続する場合

a) Protocol Type の設定を変更した後は、必ずカメラシステムの電源を一度 OFF にしてから再度 ON にしてください。

(続く)

メニューの構成と基本操作

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Security	Engineer Mode		Status、Menu Set、Code Noの表示 / 非表示の設定 (Engineer Mode On時はAdvance Modeの状態に関係なく、すべての操作可能なメニューを表示)
		Status ^{a)}	Advance Mode	メニューのノーマルモード / アドバンスモードの切り換え
			Screen Md Enable	4:3と16:9の切り換えを許可するかどうかを設定
			Pan/Tilt Enable	パン / チルト調整を許可するかどうかを設定
			Power On Active	本機立ち上げ時のパネルアクティブ、アイリス / マスターブラックアクティブの状態を設定 Full Active : 本機立ち上げ時にパネルアクティブにする IRIS/M.Black : 本機立ち上げ時にアイリス / マスターブラックアクティブにする Lock : 本機立ち上げ時にパネルロック状態にする Keep state : 本機立ち上げ時に前回の状態で立ち上げる
			Panel Active Lock	暗証番号によるパネルアクティブロック機能を使用するかどうかを設定 Disable: パネルアクティブロック機能を使用しない Enable: 新しい暗証番号を設定してパネルアクティブロック機能を使用する Enable(Engineer Code): エンジニアモードと同じ暗証番号でパネルアクティブロック機能を使用する
			Code Change	パネルアクティブロックの暗証番号を変更 (パネルアクティブロックの暗証番号設定時のみ表示)
		Menu Set ^{a)}		ファンクションメニューに表示させる項目の選択。 ●Curで場所 (1～7)を選択し、●Selで項目を選択する。 White、Black、Flare、Gamma/Knee、Detail、Cross Color、Skin Detail、Black STR、Black Gamma、Knee/DL、Gamma、Matrix、Skin Matrix、White Clip、TLCS、Auto Iris、CLS/EVS、Auto Knee、Low Key Sat、ジャンプなし
		Code No. ^{a)}	Code No.	エンジニアモードの暗証番号の設定 / 解除
			Code Change	エンジニアモードの暗証番号を変更 (エンジニアモードの暗証番号設定時のみ表示)
LCD	LCD Brightness/Contrast		●Bright	本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
LCD Moni.	LCD Monitor Brightness/Contrast		●Bright	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
Memory Stick	Memory Stick		Format	メモリースティックのフォーマット

a) Status、Menu Set、Code NoはEngineer Mode On時のみ表示されます。

DXC-637シリーズ接続時のメニュー項目

操作/調整項目欄で●が付いている項目は調整つまみに割り当てられる項目、それ以外の項目は、メニュー画面上で操作する項目です。

本機でDXC-637シリーズを操作するためには、カメラと本機をCCU-TX7を介して接続する必要があります。

表示される項目はノーマルモードとアドバンスモードで異なります。以下の表に□で記載されている項目は、アドバンスモードでのみ表示されます。

ノーマルモードとアドバンスモードの切り換えは、OTHERSメニューのRCP Config (Security→Status)で行います。

ペイントメニュー (DXC-637シリーズ接続時)

ペイントメニューはページ1～3で構成されています。

ページ	メニュー	操作/調整項目	機能
Paint 1	White	White Preset	カメラでプリセットされたホワイトバランスを再現
		Auto	自動ホワイトバランス調整モードを選択 ^{a)}
		Manual	マニュアルホワイトバランス調整モードを選択 ^{a)}
		ATW	Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス) 調整機能 (照明条件の変化に応じてホワイトバランスを自動調整する機能) を ON/OFF
		●R	Manualを押したとき、ホワイトのR信号のゲインを調整
		●B	Manualを押したとき、ホワイトのB信号のゲインを調整
	Black	Auto	自動ブラックバランス調整モードを選択 ^{a)}
		Manual	マニュアルブラックバランス調整モードを選択 ^{a)}
		●R	Manualを押したとき、ブラックのR信号のゲインを調整
		●B	Manualを押したとき、ブラックのB信号のゲインを調整
		●Master	マスターブラックを調整
	Gamma/Knee	Knee Preset	プリセットされたニー補正値を使用するモードを ON/OFF
		Auto Knee	オートニー回路を ON/OFF
		●Knee Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い (ニーの効果が強い)。
Paint 2	Detail	●Level	ディテール (輪郭補正) レベルを調整
Paint 3	Knee/DL	Knee Preset	プリセットされたニー補正値を使用するモードを ON/OFF
		Auto Knee	オートニーを ON/OFF
		●Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い (ニーの効果が強い)
	Matrix	●Matrix	マトリックス調整モードを選択 STD: 標準 FL: 蛍光灯下での撮影用 High Sat: ハイサチュレーション (色を強調する)

a) White で Auto/Manual を選択すると、Black 側も連動して同じモードが選択されます。

ファンクションメニュー（DXC-637シリーズ接続時）

メニュー	操作/調整項目	機能
Operation	Jump menu 1	Menu Set ^{a)} で Menu 1に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント1の White）
	Jump menu 2	Menu Set ^{a)} で Menu 2に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント1の Black）
	Jump menu 3	Menu Set ^{a)} で Menu 3に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント1の Flare）
	Jump menu 4	Menu Set ^{a)} で Menu 4に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント1の Gamma/Knee）
	Jump menu 5	Menu Set ^{a)} で Menu 5に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント2の Detail）
	Jump menu 6	Menu Set ^{a)} で Menu 6に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント2の Skin Detail）
	Jump menu 7	Menu Set ^{a)} で Menu 7に指定した調整画面にジャンプ（初期設定:ペイント3の Matrix）
	Shutter	シャッター機能の ON/OFF
	●Shutter	シャッタースピードの選択
	CLS	CLS（クリアスキャン）機能の ON/OFF
	●CLS	CLS周波数の選択
	●Master Gain	マスターゲイン値を Hi/Mid/Low から選択
SW	ATW	自動追尾ホワイトバランス（オートレーシングホワイト）機能を ON/OFF
	Auto Knee	オートニー回路を ON/OFF
Lens/Pan ^{b)}	Option 1	オプションコントロール機能1の ON/OFF
	Option 2	オプションコントロール機能2の ON/OFF
	●Focus ^{c)}	フォーカスの調整
	●Zoom ^{c)}	ズームの調整
	●Pan ^{d)}	雲台のパン調整
	●Tilt ^{d)}	雲台のチルト調整

a) Menu Setは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityから選択できます。

b) Lens/Panは、SecurityのStatusでPan/Tilt EnableをOnにすると表示されます。

c) 本機からレンズをコントロールするには、別売りのフォーカスズームサーボユニットおよびカメラアダプターとレンズとのインターフェースユニットが必要です。

d) 本機から雲台をコントロールするには、電動の雲台およびカメラアダプターと雲台とのインターフェースユニットが必要です。

OTHERSメニュー（DXC-637シリーズ接続時）

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能	
Camera Config	Title IND		Title IND	カメラがカラーバーモードのときのタイトル表示を ON/OFF	
			Clock IND	時計表示の切り換え Cam：常時表示 Off：表示しない	
File	Copy to Slave			マスター機の状態をスレーブ機へコピー	
RCP Config	RCP Adjusting	Buzzer Volume	●Call	コールブザーの音量を設定	
			●Touch	タッチパネルの反応音量を設定	
			●Switch	照光スイッチの確認音量を設定	
			●Master	全体の音量を設定	
			Call Buzzer	コールブザーを ON/OFF	
			Touch Click	タッチパネル音を ON/OFF	
			SW Click	スイッチ音を ON/OFF	
			All Off	全ブザー音を ON/OFF	
		LED Bright	●Switch	各 LED の明るさを設定	
			●Tally		
			●Other		
			●Master	全体の明るさを設定	
		VR Setting		VR STD Mode	IRIS、MASTER BLACK の調整モードの初期設定を選択 Absolute：絶対値モード Relative：相対値モード
				VR Rel. Scale IRIS VR	IRIS つまみの効き具合（相対値調整比：1/1、1/2、1/4）の選択。 1/1 が最も効きがよい
				M. Black VR	MASTER BLACK つまみの効き具合（相対値調整比：1/1、1/2、1/4）の選択（RCP-D50 のみ有効）。1/1 が最も効きがよい
		Information			本機のソフトウェアバージョンを表示。
	Cable Comp		Cable Length	リモートケーブル長（5M/25M/50M）の設定	
	SW Setting		● SW Assign/Sel	ASSIGN ボタンへの機能の割り当て No Assign；割り当てなし Black/Flare：BLACK/FLARE つまみの機能切り換え Black Auto：オートブラックの ON/OFF（動作しない） ATW：自動追尾ホワイトバランスの ON/OFF TLCS：トータルレベルコントロール機能の ON/OFF（動作しない） DynaLatitude：ダイナラチチュード機能の ON/OFF（動作しない）	
	CAM No.		●No.	RCPに表示するカメラ番号の選択	
	Date/Time Set	Date	●Year	本機内蔵の時計の日付合わせ	
			●Month		
			●Day		
			Set		
			Cancel		
		Time	●Hour	本機内蔵の時計の時刻合わせ	
			●Minute		
			●Second		
			Set		
			Cancel		

メニューの構成と基本操作

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Comm Link		Gain	ゲインのコマンドリンク（複数のカメラで連動して行う機能）を ON/OFF
			Shutter	シャッター設定のコマンドリンクを ON/OFF
			R/B White	ホワイト R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
			R/B Black	ブラック R/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
			R/G/B Flare	フレア R/G/B 調整のコマンドリンクを ON/OFF
	Comm Type		Protocol Type ^{a)}	接続モードの設定 P Type 2: DXC-D35、DXC-D50、CCU-TX7、CCU-D50、DSR-300/370/390/500/570に接続する場合 P Type 7: CCU-TX50に接続する場合
	Security	Engineer Mode		Status、Menu Set、Code No の表示 / 非表示の設定（Engineer Mode On時は Advance Mode の状態に関係なく、すべての操作可能なメニューを表示します。）
		Status ^{b)}	Advance Mode	メニューのノーマルモード / アドバンスモードの切り換え
			Screen Md Enable	4:3と16:9の切り換えを許可するかどうかを設定
			Pan/Tilt Enable	パン / チルト調整を許可するかどうかを設定
			Power On Active	本機立ち上げ時のパネルアクティブ、アイリス / マスターブラックアクティブの状態を設定する。 Full Active：本機立ち上げ時にパネルアクティブにする IRIS/M.Black：本機立ち上げ時にアイリス / マスターブラックアクティブにする Lock：本機立ち上げ時にパネルロック状態にする Keep state：本機立ち上げ時に前回の状態で立ち上げる
			Panel Active Lock	暗証番号によるパネルアクティブロック機能を使用するかどうかを設定する。 Disable: パネルアクティブロック機能を使用しない。 Enable: 新しい暗証番号を設定してパネルアクティブロック機能を使用する。 Enable(Engineer Code): エンジニアモードと同じ暗証番号でパネルアクティブロック機能を使用する。
			Code Change	パネルアクティブロックの暗証番号を変更（パネルアクティブロックの暗証番号設定時のみ表示）
		Menu Set ^{b)}		ファンクションメニューに表示させる項目の選択。 ●Cur で場所（1～7）を選択し、●Sel で項目を選択する。 White、Black、Flare、Gamma/Knee、Detail、Cross Color、Skin Detail、Black STR、Black Gamma、Knee/DL、Gamma、Matrix、Skin Matrix、White Clip、TLCS、Auto Iris、CLS/EVS、Auto Knee、Low Key Sat、ジャンプなし
		Code No. ^{b)}	Code No.	エンジニアモードの暗証番号の設定 / 解除
			Code Change	エンジニアモードの暗証番号を変更（エンジニアモードの暗証番号設定時のみ表示）
LCD	LCD Brightness/Contrast		●Bright	本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
LCD Moni.	LCD Monitor Brightness/Contrast		●Bright	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
Memory Stick	Memory Stick		Format	メモリースティックのフォーマット

a) Protocol Type の設定を変更した後は、必ずカメラシステムの電源を一度 OFF にしてから再度 ON にしてください。

b) Status, Menu Set, Code No は Engineer Mode On 時のみ表示されます。

CCU-TX50接続時のメニュー項目

操作/調整項目欄で●が付いている項目は調整つまみに割り当てられる項目、それ以外の項目は、メニュー画面上で操作する項目です。

表示される項目はノーマルモードとアドバンスモードで異なります。以下の表に□で記載されている項目は、アドバンスモードでのみ表示されます。

ノーマルモードとアドバンスモードの切り換えは、OTHERSメニューのRCP Config (Security→Status)で行います。

ペイントメニュー (CCU-TX50接続時)

ペイントメニューはページ1～5で構成されています。

ページ1～3は、MENUボタンのPAINT1、PAINT2、PAINT3を押して直接選択することができます。MENUボタンで選択したページの▲/▼を押すことによって、ページ1～5を順次切り換えることができます。

Paint 4およびPaint 5はPAINT3ボタンを押すことによって、選択することもできます。

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 1	White		White Preset	カメラでプリセットされたホワイトバランスを再現
			Memory A	メモリーAに保存されたホワイトバランスを再現。再現後はオートまたはマニュアルで調整可能（調整値はメモリーAに保存される）
			Memory B	メモリーBに保存されたホワイトバランスを再現。再現後はオートまたはマニュアルで調整可能（調整値はメモリーBに保存される）
			ATW	Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス)調整機能(照明条件の変化に応じてホワイトバランスを自動調整する機能)をON/OFF
			●R	Memory AまたはMemory Bを押したとき、ホワイトのR信号のゲインを調整
			●B	Memory AまたはMemory Bを押したとき、ホワイトのB信号のゲインを調整
	Black		●R	ブラックのR信号のゲインを調整
			●B	ブラックのB信号のゲインを調整
			●Master	マスターブラックを調整
	Flare		Flare Off	フレア（光が入っているときの黒レベル）補正機能をON/OFF
			●R	R信号のフレアの補正量を調整
			●G	G信号のフレアの補正量を調整
			●B	B信号のフレアの補正量を調整
	Gamma/Knee		Auto Knee	オートニー回路をON/OFF
			●Gamma	ガンマレベルを調整
			●Blk Gamma	ブラックガンマレベルを調整
			●Knee Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い（ニーの効果が強い）。
			●Knee Slope	ニースロープ（ニー補正量）を調整
Paint 2	Detail	Detail 1	●Level	ディテール（輪郭補正）レベルを調整
			●H/V Ratio	ディテール補正のH(水平)/V(垂直)比率を調整。値が大きいほどVの比率が高い。
			●Frequency	ディテール補正のブースト周波数（輪郭の太さ）を調整
		Detail 2	●Crispening	クリスピングレベル（ノイズ部分のディテールを除去するための適正レベル）を調整
			●Level Dep	レベルディペンド（ディテール信号を抑圧し始めるレベル）を調整

メニューの構成と基本操作

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 2（続き）	Cross Color		● CCS Level	クロスカラーサブレスレベルを調整（細かい縞模様を撮影すると、色がちらついたり、色がついてしまう現象を抑える）
	Skin Detail		Detail Gate	スキングートエリア（スキンディテール補正やスキンマトリクス調整の対象となる色の範囲）表示をON/OFF
			Skin DTL	スキンディテール（選択範囲の輪郭補正を抑える）機能をON/OFF
			Auto Skin	押すとスタンバイ状態になり、Startを押すとスキングートエリアの自動取り込みを開始
			● Level	スキンディテールの補正量を調整。数字が大きいほどスキングートエリア内のディテール量小さくなる
			● Phase	指定したエリアの色相を調整
			● Width	指定したエリアの色相幅を調整
			● Sat	指定したエリアの色の飽和度を調整
	Black Gamma		● R	ブラックガンマのR信号のレベルを調整
			● B	ブラックガンマのB信号のレベルを調整
			● Master	マスターブラックガンマを調整
Paint 3	Knee/DL		Auto Knee	オートニーをON/OFF
			● Point	ニー補正を開始するレベルを調整。数字が大きいほど開始点のレベルが低い（ニーの効果が強い）
			● Slope	ニースロープ（ニー補正量）を調整
	Gamma		● R	ガンマのR信号のレベルを調整
			● B	ガンマのB信号のレベルを調整
			● Master	マスターガンマを調整
	Matrix	Matrix 1	● Hue	リニアマトリクスの色合いを調整
			● Sat	リニアマトリクスの色の飽和度を調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択 STD：標準 FL：蛍光灯下での撮影用 High Sat：ハイスチュレーション（色を強調する）
		Matrix 2	● R-G/● G-B/● B-R	マトリクスのR-G成分、G-B成分、B-R成分の色調の調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択
		Matrix 3	● R-B/● G-R/● B-G	マトリクスのR-B成分、G-R成分、B-G成分の色調の調整
			● Matrix	マトリクス調整モードを選択
	Skin Matrix		Skin Matrix	スキンマトリクス機能をON/OFF
			● Hue	指定したエリアの色合いを調整
			● Sat	指定したエリアの色の飽和度を調整
Paint 4	White Clip		● Master	ホワイトクリップ量を調整（白レベルの高いところを調整する）。数字が大きいほど出力が低くなる
	TLCS		TLCS	TLCS（トータルレベルコントロール）機能をON/OFF
			● AGC/C.Point	アイリス調整をAGC（オートゲインコントロール）に切り換えるF値（F2/F2.8/F4/F5.6）を設定
			● AGC/Limit	AGC調整の上限値（3 dB/6 dB/9 dB/12 dB/18 dB）を設定
			● AE/C.Point	アイリス調整をAE（電子シャッター）に切り換えるF値（F5.6/F8/F11/F16）を設定
			● AE/Limit	AE調整の上限値（100/150/200/250）を設定
	Auto Iris		STD	標準オートアイリスモードを選択
			Spot Light	スポット光撮影用のオートアイリスモードを選択
			Back Light	逆光撮影用のオートアイリスモードを選択

ページ	メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Paint 4 (続き)	CLS/EVS		TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能 のON/OFF
			Shutter	シャッター機能 のON/OFF
			CLS	CLS (クリアスキャン) 機能 (パソコンのモニターなどを撮影したときに 出る横線上のノイズを軽減する機能) のON/OFF
			EVS	EVS モード (垂直解像度を上げてフリッカーを減らす) モードの ON/OFF
			●Shutter	シャッタースピードを選択
			●CLS	CLS周波数を調整
Paint 5	Low Key Sat		●Level	Low Key サチュレーションレベル調整
	Auto Knee		Adaptive	ニー補正の折れ曲がり滑らかにして階調を自然にする機能の ON/OFF

ファンクションメニュー (CCU-TX50接続時)

メニュー	操作/調整項目	機能
Operation	Jump menu 1	Menu Set ^{a)} で Menu 1に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の White)
	Jump menu 2	Menu Set ^{a)} で Menu 2に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Black)
	Jump menu 3	Menu Set ^{a)} で Menu 3に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Flare)
	Jump menu 4	Menu Set ^{a)} で Menu 4に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント1の Gamma/Knee)
	Jump menu 5	Menu Set ^{a)} で Menu 5に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Detail)
	Jump menu 6	Menu Set ^{a)} で Menu 6に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント2の Skin Detail)
	Jump menu 7	Menu Set ^{a)} で Menu 7に指定した調整画面にジャンプ (初期設定:ペイント3の Matrix)
	Shutter	シャッター機能を ON/OFF
	●Shutter	シャッタースピードを選択
	CLS	CLS (クリアスキャン) 機能を ON/OFF
	●CLS	CLS周波数を選択
	TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能を ON/OFF
	●Master Gain	マスターゲイン値を-3/0/3/6/9/12/18/24/30/36 dBから選択
SW	5600K	色温度 5600Kを ON/OFF
	Skin Detail	スキディテール機能を ON/OFF
	Detail Gate	スキディテールゲートエリア (スキディテール補正やスキマトリクス調整の対象となる 色の範囲) 表示を ON/OFF
	ATW	Auto Tracing White (自動追尾ホワイトバランス) 調整機能 (照明条件の変化に応じてワ イトバランスを自動調整する機能) を ON/OFF
	TLCS	TLCS (トータルレベルコントロール) 機能を ON/OFF
	Auto Knee	オートニー機能を ON/OFF
	Skin Matrix	スキマトリクス機能を ON/OFF
	Flare Off	フレア補正機能を ON/OFF (点灯時 OFF)
Lens/Pan ^{b)}	Option 1	オブションコントロール機能1を ON/OFF
	Option 2	オブションコントロール機能2を ON/OFF
	●Focus ^{c)}	フォーカスを調整
	●Zoom ^{c)}	ズームを調整
	●Pan ^{d)}	雲台をパン調整
	●Tilt ^{d)}	雲台をチルト調整

a) Menu Setは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityから選択できます。

b) Lens/Panは、SecurityのStatusでPan/Tilt EnableをOnにすると表示されます。

c) 本機からレンズをコントロールするには、別売りのフォーカスズームサーボユニットおよびカメラアダプターとレンズとのインターフェースユニットが必要です。
また、接続されるCA-TX50で特別な設定も必要になります。詳しくはソニーのサービス窓口にご相談ください。

d) 本機から雲台をコントロールするには、電動の雲台およびカメラアダプターと雲台とのインターフェースユニットが必要です。

また、接続されるCA-TX50で特別な設定も必要になります。詳しくはソニーのサービス窓口にご相談ください。

OTHERSメニュー（CCU-TX50接続時）

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
Adjusting	White Shading		● R	R信号のVホワイトシェーディング(縦方向の白のばらつき) を調整
			● G	G信号のVホワイトシェーディングを調整
			● B	B信号のVホワイトシェーディングを調整
Camera Config	Screen Mode ^{a)}		Screen Mode	スクリーンモードの選択 (4:3/16:9)
File	Scene Trans		CAM -> MS	シーンファイルを転送 (カメラからメモリースティック)
			MS -> CAM	シーンファイルを転送 (メモリースティックからカメラ)
RCP Config	RCP Adjusting	Buzzer Volume	● Call	コールブザーの音量を設定
			● Touch	タッチパネルの反応音量を設定
			● Switch	照光スイッチの確認音量を設定
			● Master	全体の音量を設定
			Call Buzzer	コールブザーをON/OFF
			Touch Click	タッチパネル音をON/OFF
			SW Click	スイッチ音をON/OFF
			All Off	全ブザー音をON/OFF
		LED Bright	● Switch	各LEDの明るさを設定
			● Tally	
			● Other	
			● Master	全体の明るさを設定
	RE Setting		BLACK/FLARE	BLACK/FLAREつまみの機能を選択 Black：ブラックバランス調整 Flare：フレアバランス調整
	VR Setting		VR STD Mode	IRIS、MASTER BLACKの調整モードの初期設定を選択 Absolute：絶対値モード Relative：相対値モード
			VR Rel. Scale IRIS VR	IRISつまみの効き具合（相対値調整比：1/1、1/2、1/4）の選択。 1/1が最も効きがよい
			M. Black VR	MASTER BLACKつまみの効き具合（相対値調整比：1/1、1/2、1/4）の選択（RCP-D50のみ有効）。1/1が最も効きがよい
	Information			本機のソフトウェアバージョンを表示
	Cable Comp		Cable Length	リモートケーブル長（5M/25M/50M）の設定
	SW Setting		● SW Assign/Sel	ASSIGNボタンへの機能の割り当て No Assign：割り当てなし Black/Flare：BLACK/FLAREつまみの機能切り換え Black Auto：オートブラックのON/OFF（機能しない） ATW：自動追尾ホワイトバランスのON/OFF TLCS：トータルレベルコントロール機能のON/OFF DynaLatitude：ダイナラチチュード機能のON/OFF（機能しない） CCU character：CCU-TX50のキャラクターページの切り換え
	CAM No.		CAM ID -> No.	本機のカメランumber / タリー表示部の切り換え（カメラIDまたはカメラ番号） ^{b)}
			● No.	RCPに表示するカメラ番号の選択

a) Screen Modeは、OTHERSメニューのRCP ConfigのSecurityのStatusでScreen Md EnableをOnにすると表示されます。

b) CCU-TX50接続時は、カメラIDは表示できません。

1次メニュー	2次メニュー	サブメニュー	操作/調整項目	機能
RCP Config (続き)	Date/Time Set	Date	●Year	本機内蔵の時計の日付合わせ
			●Month	
			●Day	
			Set	
			Cancel	
		Time	●Hour	本機内蔵の時計の時刻合わせ
			●Minute	
			●Second	
			Set	
			Cancel	
	Comm Type		Protocol Type ^{a)}	接続モードの設定 P Type 2: DXC-D35、DXC-D50、CCU-TX7、CCU-D50、 DSR-300/370/390/500/570に接続する場合 P Type 7: CCU-TX50に接続する場合
	Security	Engineer Mode		Status、Menu Set、Code Noの表示 / 非表示の設定 (Engineer Mode On時はAdvance Modeの状態に関係なく、すべての操作可能なメニューを表示)
		Status ^{b)}	Advance Mode	メニューのノーマルモード / アドバンスモードの切り換え
			Screen Md Enable	4:3と16:9の切り換えを許可するかどうかを設定
			Pan/Tilt Enable	パン / チルト調整を許可するかどうかを設定
			Power On Active	本機立ち上げ時のパネルアクティブ、アイリス / マスターブラックアクティブの状態を設定 Full Active : 本機立ち上げ時にパネルアクティブにする IRIS/M.Black : 本機立ち上げ時にアイリス / マスターブラックアクティブにする Lock : 本機立ち上げ時にパネルロック状態にする Keep state : 本機立ち上げ時に前回の状態で立ち上げる
			Panel Active Lock	暗証番号によるパネルアクティブロック機能を使用するかどうかを設定 Disable: パネルアクティブロック機能を使用しない Enable: 新しい暗証番号を設定してパネルアクティブロック機能を使用する Enable(Engineer Code):エンジニアモードと同じ暗証番号でパネルアクティブロック機能を使用する
			Code Change	パネルアクティブロックの暗証番号を変更 (パネルアクティブロックの暗証番号設定時のみ表示)
		Menu Set ^{b)}		ファンクションメニューに表示させる項目の選択。 ●Curで場所 (1～7)を選択し、●Selで項目を選択する。 White、Black、Flare、Gamma/Knee、Detail、Cross Color、Skin Detail、Black STR、Black Gamma、Knee/DL、Gamma、Matrix、Skin Matrix、White Clip、TLCS、Auto Iris、CLS/EVS、Auto Knee、Low Key Sat、ジャンプなし
			Code No. ^{b)}	Code No.
		Code Change		エンジニアモードの暗証番号を変更 (エンジニアモードの暗証番号設定時のみ表示)
LCD	LCD Brightness/Contrast		●Bright	本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
LCD Moni.	LCD Monitor Brightness/Contrast		●Bright	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイの明るさ設定
			●Cont	カメラ画像表示時の本機の液晶ディスプレイのコントラスト設定
Memory Stick	Memory Stick		Format	メモリースティックのフォーマット

a) Protocol Type の設定を変更した後は、必ずカメラシステムの電源を一度 OFF にしてから再度 ON にしてください。

b) Status, Menu Set, Code No は Engineer Mode On 時のみ表示されます。

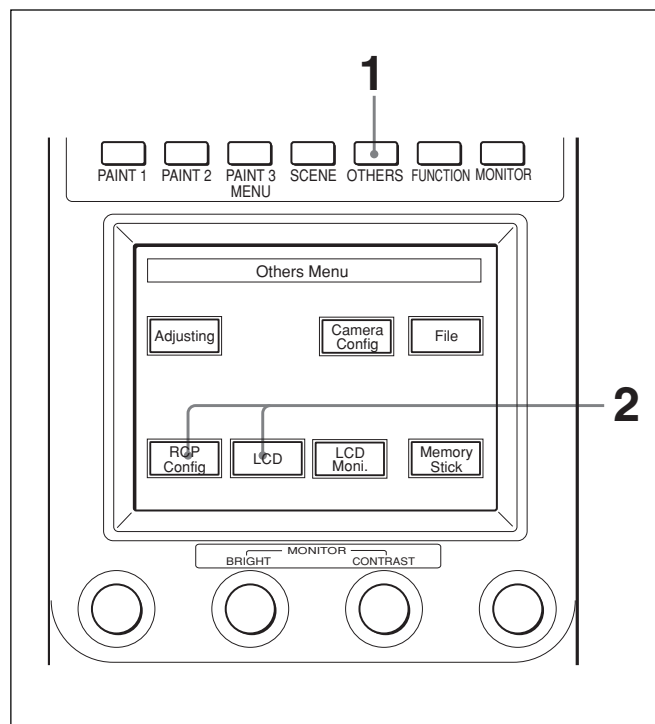
初期設定

RCP-D50/D51の動作環境の設定

OTHERS メニューのRCPコンフィグメニューやLCD設定画面では、RCP-D50/D51に内蔵されている時計の時刻合わせや、警告ブザー音の音量、インジケーターやディスプレイの明るさを調整することができます。

RCPコンフィグメニュー/LCD設定画面を表示させるには

次の手順で操作します。

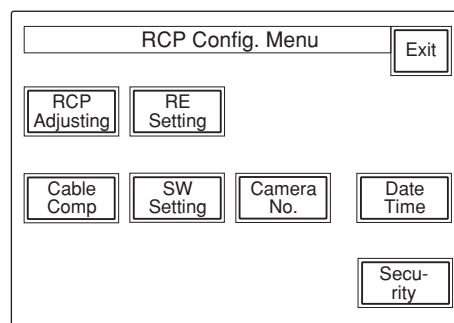


- 1 メニュー操作部の OTHERS ボタンを押して点灯させる。

OTHERSメニューが表示されます。

- 2 RCPコンフィグメニューを表示させるときは、**[RCP Config]**を押す。

RCPコンフィグメニューに切り換わります。



LCD設定画面を表示させるときは、**[LCD]**を押す。

LCD設定画面（45ページ）に切り換わります。

時計を合わせる

RCP-D50/D51には、メモリースティックにシーンファイルを保存した日時を記録するための時計が内蔵されています。

時計合わせは、次の手順で行います。

- 1 メニュー操作部の OTHERS ボタンを押して、LCDに OTHERSメニューを表示させ、**[RCP Config]**を押してRCPコンフィグメニューを呼び出す。

- 2 メニューをアドバンスモードにする。

1) RCPコンフィグメニューの**[Security]**を押す。

2) **[Engineer Mode]**を押して点灯させる。

上部に**[Status]**、**[Menu Set]**、**[Code No.]**の3つのボタンが表示されます。

3) **[Status]**を押す。

セキュリティステータスメニューが表示されます。

4) **[Advance Mode]**を押す。

- 3 RCPコンフィグメニューの**[Date/Time]**を押す。

時計合わせメニューに切り換わり、現在の設定が表示されます。

Date Time Set Menu

2001/11/17
(Sat)
22:12:31

Date Time

Exit

4 日付を合わせる。

- 1) **Date** を押して点灯させる。

Date Time Setting

2001/11/17
(Sat)
22:12:31

Date Time Set Cancel

Year Month Day

2001 8 8

- 2) 左3つの調整つまみでそれぞれ年 (Year)、月 (Month)、日 (Day) を合わせる。
- 3) **Set** を押す。

設定した日付が有効になります。

Set を押す前に **Cancel** を押すと元の日付に戻ります。

5 時刻を合わせる。

- 1) **Time** を押して点灯させる。

Date Time Setting

2001/11/17
(Sat)
22:12:31

Date Time Set Cancel

Hour Minute Second

17 32 25

- 2) 左の3つの調整つまみで、それぞれ時 (Hour)、分 (Minute)、秒 (Second) を合わせる。
- 3) ラジオなどの時報に合わせて **Set** を押す。

設定した時刻が有効になります。

Set を押す前に **Cancel** を押すと元の時刻に戻ります。

日時の設定が終わったら

Exit を押してメニューを抜けます。

ブザーを設定する

RCP-D50/D51では、コール信号を受信したときや、パネルを操作するとブザー音が聞こえます。

必要に応じて、ON/OFFしたり、音量を調整してください。

設定は、次の手順で行います。

- 1 RCPコンフィグメニューの **RCP Adjusting** を押す。

RCP設定メニューに切り換わります。

Clear Exit

Buzzer Volume LED Bright

- 2 RCP設定メニューの **Buzzer Volume** を押して点灯させる。

ディスプレイの下半分が、ブザー設定画面になります。

Clear Exit

Buzzer Volume LED Bright

Buzzer Volume

Call Buzzer Touch Click SW Click All Off

Call Touch Switch Master

50 50 50 50

3 対応する調整つまみで、ブザーの音量を調整する（標準設定値はすべて50）。

Call：コール信号受信時のブザーの音量

Touch：メニュー画面（タッチパネル）に表示された操作ボタンを押したときのブザーの音量

Switch：操作パネル上のボタンを押したときのブザーの音量

右端のつまみ（Master）で、全体の音量を調整できます。

ブザーを個別にON/OFFするには

対応するボタンを押します。点灯時がONになります。

Call Buzzer：コール信号受信時のブザー

Touch Click：メニュー画面（タッチパネル）に表示された操作ボタンを押したときのブザー

SW Click：操作パネル上のボタンを押したときのブザー

ブザー音をすべてOFFにするには

All Offを押して点灯させます。

設定が終わったら

Exitを押してメニューを抜けます。

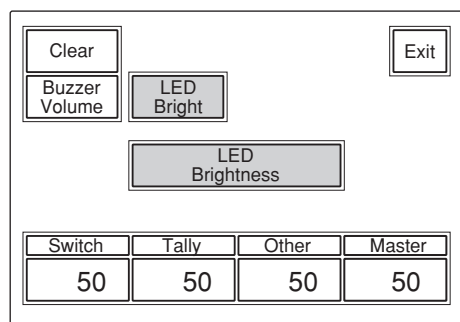
LEDの明るさを設定する

RCP-D50/D51では、操作ボタンやタリー表示部のLEDの明るさとコントラストを調整できます。

1 RCPコンフィグメニューの**RCP Adjusting**を押して、RCP設定メニューに切り換える。

2 RCP設定メニューの**LED Bright**を押して点灯させる。

ディスプレイの下半分が、LED明るさ設定画面になります。



3 対応する調整つまみで、LEDの明るさを調整する（標準設定値はすべて50）。

Switch：操作ボタン内蔵のLEDの明るさ

Tally：カメラナンバー/タリー表示部のLEDの明るさ

Other：マスターブラック表示、Fナンバー表示やインジケータ/ランプのLEDの明るさ

右端のつまみ（Master）で、全体の明るさを調整できます。

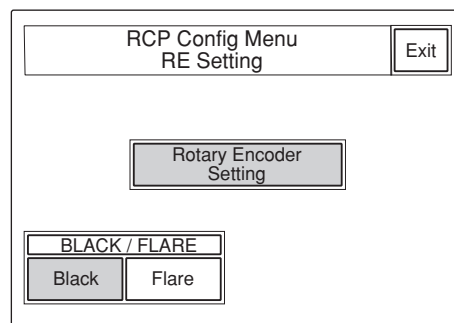
設定が終わったら

Exitを押してメニューを抜けます。

ロータリーエンコーダーの設定を変更する

BLACK/FLARE調整つまみの機能を変更することができます。

1 RCPコンフィグメニューの**RE Setting**を押して、ロータリーエンコーダー設定画面に切り換える。



2 BLACK/FLARE調整つまみの機能を変更するときは、**Black**または**Flare**を押す。

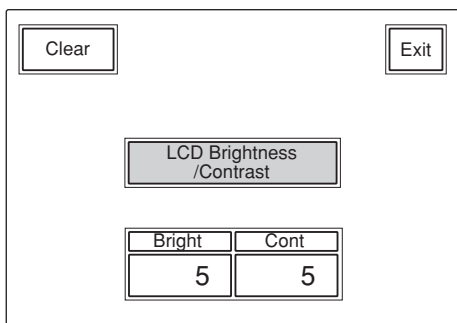
設定が終わったら

Exitを押してメニューを抜けます。

液晶ディスプレイの明るさ/コントラストを設定する

LCD設定画面で、メニュー操作部の液晶ディスプレイの明るさやコントラストを調整できます。

- 1 OTHERSメニューの[LCD]を押して、LCD設定画面に切り換える。



- 2 Bright (明るさ) および Cont (コントラスト) を調整する (標準設定値はどちらも5)。

モニター表示時の明るさ/コントラストを調整するときは

- 1 OTHERSメニューの[LCD Moni.]を押して、LCD設定画面に切り換える。
- 2 Bright (明るさ) および Cont (コントラスト) を調整する (標準設定値はどちらも5)。

設定が終わったら

[Exit]を押してメニューを抜けます。

ASSIGNボタンに機能を割り当てる

ASSIGNボタンに機能を割り当てることができます。

- 1 メニュー操作部のOTHERSボタンを押して、LCDにOTHERSメニューを表示させ、[RCP Config]を押してRCPコンフィグメニューを呼び出す。

- 2 メニューをアドバンスモードにする。

1) RCPコンフィグメニューの[Security]を押す。

2) [Engineer Mode]を押して点灯させる。

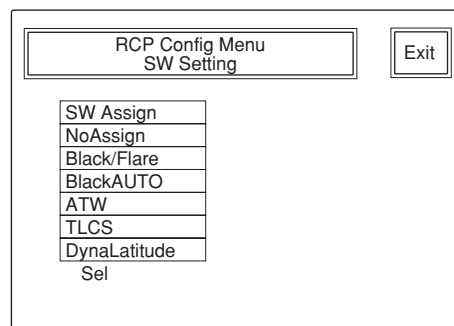
上部に[Status]、[Menu Set]、[Code No.]の3つのボタンが表示されます。

3) [Status]を押す。

セキュリティステータスメニューが表示されます。

4) [Advance Mode]を押す。

- 3 RCPコンフィグメニューの[SW Setting]を押して、設定画面に切り換える。



- 4 左端の調整つまみ (Sel) で機能を選択する。

NoAssign : 何も割り当てない (デフォルト)

Black/Flare : BLACK/FLAREつまみの機能の切り換え

BlackAUTO : オートブラックのON/OFF

ATW : 自動追尾ホワイトバランスのON/OFF

TLCS : トータルレベルコントロールのON/OFF

DynaLatitude : ダイナラチチュードのON/OFF

ご注意

接続したカメラの機種によっては、動作しない機能もあります。

設定が終わったら

[Exit]を押してメニューを抜けます。

暗証番号を設定する

暗証番号を設定することによって、エンジニアモードへの切り換えや、パネル操作、アイリス/マスターブラック調整の作業者を限定することができます。

エンジニアモードを暗証番号でロックするには

1 メニュー操作部の OTHERS ボタンを押して、LCD に OTHERS メニューを表示させ、**[RCP Config]** を押して RCP コンフィグメニューを呼び出す。

2 メニューをエンジニアモードにする。

1) RCP コンフィグメニューの **[Security]** を押す。

2) **[Engineer Mode]** を押して点灯させる。

上部に **[Status]**、**[Menu Set]**、**[Code No.]** の3つのボタンが表示されます。

3 **[Code No.]** を押す。

暗証番号の設定画面が表示されます。

4 **[Enable]** を押す。

暗証番号入力画面に切り換わり、メッセージ「Input New Code No.」が表示されます。

5 暗証番号を入力して、**[Enter]** を押す。

[0]～[9] を押して、暗証番号(1桁以上8桁以下)を入力してください。

入力した桁数に応じた数の*が、New Code No. の上の欄に表示されます。

間違えたときは、**[Back Space]** を押して、1桁ずつ入力を取り消します。

[Enter] を押すと、メッセージ「Input Again to Confirm」が表示されます。

6 暗証番号をもう1度入力して、**[Enter]** を押す。

入力した桁数に応じた数の*が、New Code No. の下の欄に表示されます。

入力が間違っていると、メッセージ「!!!Code No. NG!!!」が表示され、入力がクリアされます。

合っていた場合は、暗証番号設定画面に戻り、**[Enable]** が点灯し、新たに **[Code Change]** ボタンが表示されます。

この設定を行うと、セキュリティメニューの **[Engineer Mode]** を押したときに暗証番号入力画面が表示されます。

暗証番号を正しく入力しないと、エンジニアモードに切り換わりません。

エンジニアモードの暗証番号設定を解除するには

1 エンジニアモードの暗証番号が設定されている状態で、「エンジニアモードを暗証番号でロックするには」の手順**1～4**と同様に操作する。

暗証番号入力画面が表示されます。

2 暗証番号を入力して、**[Enter]** を押す。

暗証番号設定が解除されます。

パネル操作、アイリス/マスターブラック調整を暗証番号でロックするには (パネルアクティブロック)

1 メニュー操作部の OTHERS ボタンを押して、LCD に OTHERS メニューを表示させ、**[RCP Config]** を押して RCP コンフィグメニューを呼び出す。

2 メニューをエンジニアモードにする。

1) RCP コンフィグメニューの **[Security]** を押す。

2) **[Engineer Mode]** を押して点灯させる。

上部に **[Status]**、**[Menu Set]**、**[Code No.]** の3つのボタンが表示されます。

3 **[Status]** を押す。

セキュリティステータスメニューが表示されます。

4 **[▶]** を押して2ページ目を表示させ、**[Enable]** を押す。

暗証番号入力画面が表示されます。

(ここで **[Enable (ENG Code)]** を押すと、エンジニアモードと同じ番号がパネルロックの暗証番号になります。)

5 「エンジニアモードを暗証番号でロックするには」の手順5、6と同様に操作する。

セキュリティステータスメニューに戻り、**[Enable]** が点灯し、新たに **[Code Change]** ボタンが表示されます。

この設定を行うと、パネルアクティブ状態で **PANEL ACTIVE** ボタンを2秒以上押すと、「!!Panel Locked!!」が表示され、パネルがロックされます。

ロック後は、**PANEL ACTIVE** または **IRIS/M.BLACK ACTIVE** ボタンを押すと、暗証番号入力画面が表示されます。

暗証番号を正しく入力しないと、ロックは解除されません。

ご注意

- エンジニアモードのロックが設定されていない場合は、**[Enable (ENG Code)]** は表示されません。
- パネルが暗証番号でロックされている場合は、電源を切ってもパネルロックは解除されません。
エンジニアモードにするとパネルロックが解除されます。
- パネルが暗証番号でロックされている場合は、**RCP Config → Security** 以外の **OTHERS** メニュー項目は表示できません。
- エンジニアモードの暗証番号を設定しないでパネルロック用の暗証番号のみ設定されている場合は、パネルロック状態のときエンジニアモードがパネルロック用の暗証番号でロックされます。

パネルアクティブロックの暗証番号設定を解除するには

1 パネルアクティブロックが **Enable** の状態で、「パネル操作、アイリス/マスターブラック調整を暗証番号でロックするには(パネルアクティブロック)」の手順1～3と同様に操作する。

暗証番号入力画面が表示されます。

2 ▶を押して2ページ目を表示させ、**[Disable]** を押す。

暗証番号設定が解除されます。

暗証番号を変更するには

1 暗証番号設定画面の **[Code Change]** を押す。

暗証番号入力画面に切り換わり、メッセージ「Input Old Code No.」が表示されます。

2 現在の暗証番号を入力して、**[Enter]** を押す。

入力した桁数に応じた数の*が、Old Code No.欄に表示されます。

[Enter] を押すと、メッセージ「Input New Code No.」が表示されます。

3 新しい暗証番号を入力して、**[Enter]** を押す。

メッセージ「Input Again to Confirm」が表示されます。

4 新しい暗証番号をもう1度入力して、**[Enter]** を押す。

新しい暗証番号が有効になります。

ご注意

暗証番号が設定されていないときは、**[Code Change]** は表示されません。

パスワードを忘れてしまったら

1 いったん電源を切り、MASTERボタンとCLOSEボタンを押しながら電源を入れ直す。

暗証番号解除確認画面が表示されます。

2 **[OK]** を押す。

メッセージ「Code No. cleared」が表示され、暗証番号の設定が解除されます。

ファイル操作

本機では、カメラの設定データをシーンファイルまたはセットアップファイルとして登録し、必要に応じて呼び出して使うことができます。それぞれのファイルに保存できるカメラの設定項目を下表に示します。

設定項目	セットアップファイル (DXC-D30/D35のみ)	シーンファイル		
		DXC-D30/D35	DXC-D50	DXC-637シリーズ
カメラ画またはカラーバー表示の選択		○		○
マスターブラック	○	○	○	○
アイリス		○		○
オートアイリスモード		○	○	○
マスターゲイン		○	○	○
TLCS		○		
AGC 上限値		○		
AGC 動作開始F値		○		
AE 動作開始F値		○		
シャッター / クリアスキャン		○	○	○
シャッタースピード		○	○	○
クリアスキャン周波数		○	○	○
フィルターポジション		○	○	
ホワイトバランスまたはブラックバランスの選択		○		○
ATW 機能 ON/OFF		○	○	○
R/B ホワイトバランス調整		○	○	○
R/B ブラックバランス調整		○	○	○
フレア補正機能 ON/OFF		○	○	
R/G/B フレア補正		○	○	
ディテール補正機能 ON/OFF		○		
ディテールレベル	○	○	○	○
ディテールブースト周波数	○	○	○	
クリスプニングレベル	○	○	○	
レベルディベンド値	○	○	○	
ディテール H/V	○	○	○	
V-ディテールリミット値	○	○		
ハイライトディテール	○	○		
アフターガンマディテール	○	○		
アパーチャ補正機能 ON/OFF		○		
アパーチャ補正量	○	○		
ニアパーチャ補正機能 ON/OFF		○		
ニアパーチャ補正量	○	○		
クロスカラーサブレス量	○	○	○	
R/G コムフィルター ON/OFF	○	○		
ニー補正モード		○		○

設定項目	セットアップファイル (DXC-D30/D35のみ)	シーンファイル		
		DXC-D30/D35	DXC-D50	DXC-637シリーズ
マスターニーポイント	○	○	○	○
マスターニースロープ	○	○	○	
ホワイトクリップ回路ON/OFF		○		
ホワイトクリップ量		○	○	
ガンマ補正機能ON/OFF		○		
マスターガンマ	○	○	○	
R/Bガンマ		○	○	
マスターブラックガンマ			○	
R/Bブラックガンマ			○	
ガンマイニシャルゲイン	○	○		
ブラックストレッチレベル	○	○		
ブラックストレッチ上限値/下限値	○	○		
ブラックプレス上限値/下限値	○	○		
ダイナラチチュード効果		○		
マトリックス調整機能ON/OFF		○		
サチュレーション/ヒュー	○	○	○	
マトリックス調整モード			○	○
マトリックスパラメーター (R-G、R-B、G-R、G-B、B-R、B-G)	○	○	○	
スキンディテールレベル		○	○	
スキンマトリックスサチュレーション/ヒュー	○	○	○	
スキングート位置/幅		○		
スキングート検出ウィンドウ位置/サイズ		○		
EVS			○	
Low Key サチュレーション			○	
フォーカス/ズーム		○		○
パン/チルト		○		○
オプションコントロール機能1、2のON/OFF		○		○

シーンファイルを操作する

シーンファイルは、本機のメモリー（DXC-D50接続時はカメラのメモリー）に登録されます。

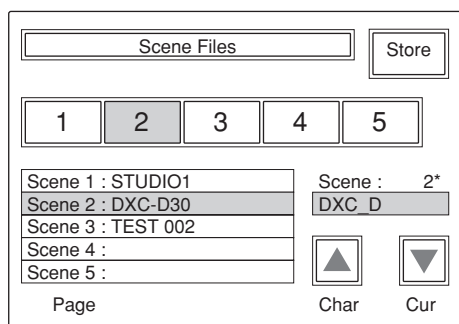
48、49 ページの表のシーンファイル欄に○がついている項目の設定を、20とお入り登録して、必要なときに呼び出して再現できます。シーンファイルは、シーンファイル操作メニューを使用して登録や呼び出しを行います。

シーンファイルを登録するには

シーンファイルの登録には、シーンファイル操作メニューを使用します。

次のように操作します。

- 1 48、49 ページの表のシーンファイル欄に○がついている項目を、登録したい状態に調整する。
- 2 メニュー操作部の SCENE ボタンを押して、LCD にシーンファイル操作メニューを表示させる。



- 3 **[Store]** を押す。
- 4 ファイル名入力ボックスに、ファイル名を入力する（8文字まで）。
カーソルを動かすには：カーソルが文字を入力したい位置にくるまで右端のつまみ（Cur）を回す。
文字を選択するには：入力する文字が表示されるまで右から2番目のつまみ（Char）を回す。
- 5 保存したい番号（1～20）のシーンファイル選択ボタンを押す。

保存したい番号のボタンが表示されていないときは、右下の▲または▼を押してください。

[1] ～ [5]、**[6] ～ [10]**、**[11] ～ [15]**、**[16] ～ [20]** の順番で、ボタンが5つずつ切り換わります。

左端のつまみ（Page）でひとつずつ切り換えることもできます。つまみを右に回すと、大きい番号のボタンが順次表示され、左に回すと小さい番号のボタンが表示されます。

選択したファイル番号が、ファイル名入力ボックスの上に表示されます。

シーンファイルを呼び出すには

登録したシーンファイルを呼び出すときも、シーン操作ファイルメニューを使用します。

- 1 メニュー操作部の SCENE ボタンを押して、LCD にシーンファイル操作メニューを表示させる。
- 2 呼び出すファイルのボタンが表示されるまで、▲または▼を押すか、左端のつまみ（Page）を回す。
- 3 呼び出すファイルのボタンを押す。

ファイルが呼び出され、カメラの設定が、呼び出されたファイルのデータに置き換わります。

カメラ・メモリースティック間でシーンファイルを転送する (DXC-D50使用時)

DXC-D50接続時は、登録したシーンファイルを一括してメモリースティックに保存し、必要なときに読み出すことができます。

シーンファイルをメモリースティックに保存するには

次のように操作します。

- 1 メモリースティックを差し込む (56ページ参照)。
- 2 メニュー操作部の OTHERSボタンを押して、LCDに OTHERSメニューを表示させ、**[RCP Config]**を押してRCPコンフィグメニューを呼び出す。
- 3 メニューをアドバンスモードにする。
 - 1) RCPコンフィグメニューの**[Security]**を押す。
 - 2) **[Engineer Mode]**を押して点灯させる。
上部に**[Status]**、**[Menu Set]**、**[Code No.]**の3つのボタンが表示されます。
 - 3) **[Status]**を押す。
セキュリティステータスメニューが表示されます。
 - 4) **[Advance Mode]**を押す。
- 4 OTHERSメニューに戻り、**[File]**を押す。
- 5 **[File Trans]**を押す。

ファイル転送操作画面が表示されます。
- 6 **[CAM->MS]**を押す。

確認画面が表示されます。
- 7 **[Start]**を押す。

登録されているシーンファイルがメモリースティックに転送されます。

転送が終わると

「COMPLETED」のメッセージが表示されます。

シーンファイルをメモリースティックから読み出すには

次のように操作します。

- 1 メモリースティックを差し込む (56ページ参照)。
- 2 保存時と同様に操作して、ファイル転送操作画面を表示させる。
- 3 **[MS->CAM]**を押す。

確認画面が表示されます。

- 4 **[Start]**を押す。

メモリースティックに保存されているシーンファイルがカメラに転送されます。

転送が終わると

「COMPLETED」のメッセージが表示されます。

セットアップファイル进行操作する (DXC-D30/D35使用時)

48、49ページの表のセットアップファイル欄に○がついている項目の設定は、セットアップファイルとしてカメラのメモリーに保存されています。

すでにカメラにプリセットされている5つのファイル（PRESET 1～PRESET 5）に加え、3つのファイル（USER 1～USER 3）を新たに登録して、必要なときに呼び出して再現できます。

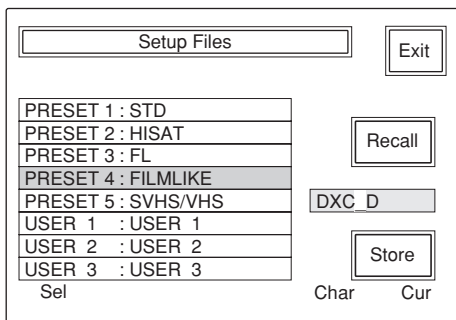
セットアップファイルの登録や呼び出しには、セットアップファイル操作画面を使用します。

セットアップファイルを登録するには

1 メニュー操作部の OTHERS ボタンを押して、LCDに OTHERS メニューを表示させ、**[File]** を押してファイル操作メニューを呼び出す。

2 **[Setup File]** を押す。

セットアップファイル操作画面が表示されます。



3 左端のつまみ（Sel）を回して、保存したいファイルをリストから選択する。

USER 1～USER 3（ユーザー登録ファイル1～3）から選択します。

4 ファイル名入力ボックスに、ファイル名を入力する（8文字まで）。

カーソルを動かすには：カーソルが文字を入力したい位置にくるまで右端のつまみ（Cur）を回す。

文字を選択するには：入力する文字が表示されるまで右から2番目のつまみ（Char）を回す。

5 **[Store]** を押す。

カメラの現在の設定がセットアップファイルとして手順**4**で入力したファイル名がリストに表示されます。

セットアップファイルを呼び出すには

1 セットアップファイル操作画面を表示させ、左端のつまみ（Sel）を回して、呼び出したいファイルをリストから選択する。

PRESET 1～PRESET 5（プリセットファイル1～5）とUSER 1～USER 3（ユーザー登録ファイル1～3）から選択します。

2 **[Recall]** を押す。

ファイルが呼び出され、カメラの設定が、呼び出されたファイルのデータに置き換わります。

スキンディテール・スキンマトリックス補正 (DXC-D30/D35/D50使用時)

スキンディテールおよびスキンマトリックス補正は、任意に選択した色を含むエリア(スキングートエリア)に対してディテール量やマトリックス(サチュレーション、ヒュー)を調整する機能です。対象となるスキングートエリアはスキンディテール、スキンマトリックス共通ですが、各々独立して機能をON/OFFできます。

スキングートエリアを設定するには

通常は、AUTO SETUP部のSKIN DTL SETUPボタンを使って、スキングート(対象となる色)の位置を自動取り込みします。

1 SKIN DTL SETUPボタンを押して点灯させる(ON)。

LCDとカメラのビューファインダー画面にスキングートと取り込み範囲を示すウィンドウが表示されます。

また、CCUのPIX端子の出力画にもスキングートが表示されます。

2 STARTボタンを押す。

スキングートが自動的に取り込まれます。

DXC-D30/D35使用時は、自動取り込みされたスキングートの位置やサイズを、ペイントメニューでマニュアル調整することができます。

スキンディテール補正を行うには

スキンディテール補正により、設定したスキングートエリア内のディテール量を、スキングートエリア外のディテール量より減らすことができます。

1 SKIN DETAILボタンを押して点灯させる(ON)。

2 ペイントメニュー2から **[Skin Detail]** を選択する。

3 左端のつまみ(Level)でディテール補正量を設定する。

最大値(+99)： エリア内ディテール量は最小になる。

最小値(0)： エリア内ディテール量はエリア外と同じになる
(スキンディテール機能をOFFにした場合と同じ効果)。

最小値に設定したまま電源を切ったり、シーンファイルに設定を保存した場合は、次回本機の電源を入れたときや、シーンファイルを読み出したときに、スキンディテール機能はOFFになります。

スキンディテール補正に関する設定を保存するときは

電源を切ったり、シーンファイルに設定を保存するときに、SKIN DETAILボタンをONにして行ってください。OFFになっていると、スキンディテール補正に関する設定は保存されません。

スキンマトリックスを調整するには

以下に示す操作により、設定したスキングートエリア内のマトリックス(サチュレーション、ヒュー)を調整できます。

1 ペイントメニュー3から **[Skin Matrix]** を選択する。

2 **[Skin Matrix]** をONにする。

3 左端のつまみ(Hue)および2番目のつまみ(Sat)を使って、サチュレーションとヒューを調整する。

サチュレーションやヒューを00に設定すると、スキンマトリックス機能をOFFにした場合と同じ効果になります。00に設定したまま電源を切ったり、シーンファイルに保存した場合は、次回本機の電源を入れたときや、シーンファイルを読み出したときに、スキンマトリックス機能はOFFになります。

ご注意

DXC-D30使用時は、Matrix ONのとき有効です。

スキンマトリックス調整に関する設定を保存するときは

電源を切ったり、シーンファイルに設定を保存するときに、スキンマトリックス調整機能をONにして行ってください。OFFになっていると、スキンマトリックス調整に関する設定は保存されません。

複数カメラのコントロール — マルチカメラ操作

接続と準備

複数のカメラで構成されたシステムでは、CCU-TX7のRS232C端子を互いに接続することにより、システム内のRCPから任意に選択した1台のRCPで複数のカメラをコントロールすることができます。また、各RCPをマスター機またはスレーブ機に設定すると、マスター機に接続されたカメラの設定データを他のカメラにコピーすることができます。

CCU-TX7を互いに接続するには

市販のRS-232Cクロス（またはリバース）ケーブル（D-sub 25ピンプラグ付き）を使って、各CCUのRS232C端子を接続します。

◆使用できるケーブルについて詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

ご注意

- マルチカメラ操作では、すべてのカメラが同じ設定状態にならない場合があります。（設定する項目や、各カメラの状態の違いによって、各カメラの設定状態が変わります。）
- 異なる種類のカメラが混在するシステムで、マルチカメラ操作による設定を行う場合の設定内容や調整範囲、調整精度は、マスター機と接続しているカメラの性能に準じて決まります。
- 設定項目によって、設定値が絶対値になる場合と相対値になる場合があります。
- スレーブ機で行う設定は、直接接続されたカメラに対してのみ有効です。

マスター機とスレーブ機を設定するには

ご注意

マスター機およびスレーブ機の設定は、システム内のカメラ全部の電源が入っている状態で行ってください。電源が入っていないカメラがあると、正しく設定されないことがあります。

- 1 マスター機にしたいRCPを1台選択し、MASTERボタンを押して点灯させる。
- 2 スレーブ機にしたいRCPを選択し（複数台選択可能）、SLAVEボタンを押して点灯させる。

アイリス/マスターブラックを複数のカメラで同時に調整する

アイリスおよびマスターブラックについては、マスター、スレーブの設定に関係なく、あらかじめIRIS M.BLACK LINKボタンで指定したRCPのうち任意の1台から調整できます。

- 1 アイリスまたはマスターブラックを調整したいカメラに接続されているRCPのIRIS/M.BLACKボタンを押して点灯させる。
- 2 IRIS/M.BLACKボタンが点灯しているRCPのうち任意の1台でアイリスまたはマスターブラックを調整する。

IRIS/M.BLACKボタンが点灯しているRCPと接続しているカメラのアイリスまたはマスターブラックが、同時に同じ量だけ（相対値モードで）調整されます。

ご注意

シーンファイル転送時は、IRIS M.BLACK LINK機能は解除されません。

設定データをカメラ間でコピーする

シーンファイルに登録できる設定（39、40ページ参照）については、マスター機で行われた設定のデータを、スレーブ機に接続されたカメラにコピーすることができます。

以下のように操作します。

- 1 マスター機において、OTHERSメニューから **[File]** を選択し、**[Copy To Slave]** を押す。

確認画面が表示されます。
- 2 **[Start]** を押す。

データ転送が始まります。

転送中、すべてのRCP（マスター機でもスレーブ機でもないものも含む）のLCDに、「IN PROGRESS」のメッセージが表示されます。この間操作パネルのボタンやつまみはロックされます。

転送が終了すると、LCDに「COMPLETED」のメッセージが表示されます。メッセージが消えると、LCDは元の状態に戻ります。

ご注意

- ・スレーブ機側でシーンファイルの転送が行われている間は、マスター機からデータを転送しないでください。シーンファイルの転送が失敗します。
- ・シーンファイル転送時は、マスター/スレーブ設定は解除されます。

1台のRCPで複数のカメラを操作する —コマンドリンク操作

コマンドリンク操作により、マスター機に指定されたRCPを操作するだけで、スレーブ機に接続されたカメラの調整や設定を行うことができます。

コマンドリンクさせたい機能は、あらかじめマスター機を使用してRCPコンフィグメニューからコマンドリンク設定画面を呼び出し、コマンドリンクをONに設定してください。

ご注意

コマンドリンク設定画面は、メニューをアドバンスモードにしないと表示できません。

コマンドリンク可能な機能

ゲイン設定 (絶対値)

シャッター設定 (絶対値)

- ・シャッター機能のON/OFF
- ・クリアスキャン機能のON/OFF
- ・EVS機能のON/OFF
- ・シャッタースピードの設定
- ・クリアスキャン周波数の設定

R/Bマニュアルホワイトバランス調整 (相対値)

R/Bマニュアルブラックバランス調整 (相対値)

R/G/Bマニュアルフレア補正 (相対値)

ご注意

- ・種類の異なるカメラが混在するシステムでは、ゲイン設定のコマンドリンク操作を行わないでください。マスター機とスレーブ機に接続されたカメラの種類が異なっている場合、マスター機側でゲイン値を変化させると、スレーブ機に接続されたカメラのゲイン値は0dBまたはLOWになります。またCLS周波数はカメラの限界値以上にはあがりません。
- ・ホワイトバランス、ブラックバランス、フレアをコマンドリンクで調整する場合は、スレーブ機側でもホワイトバランス、ブラックバランスがマニュアル調整モードになっている必要があります。
- ・R/G/Bフレア補正の調整は、DXC-D30/D35/D50使用時のみコマンドリンク調整が可能です。

コマンドリンクをONにするには

1 メニュー操作部のOTHERSボタンを押して、LCDにOTHERSメニューを表示させ、**[RCP Config]**を押してRCPコンフィグメニューを呼び出す。

2 メニューをアドバンスモードにする。

1) RCPコンフィグメニューの**[Security]**を押す。

2) **[Engineer Mode]**を押して点灯させる。

上部に**[Status]**、**[Menu Set]**、**[Code No.]**の3つのボタンが表示されます。

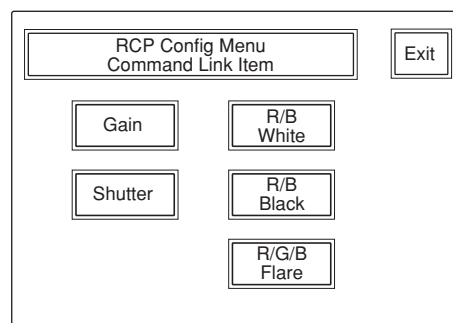
3) **[Status]**を押す。

セキュリティステータスメニューが表示されます。

4) **[Advance Mode]**を押す。

3 RCPコンフィグメニューに戻り、**[Comm Link]**を押す。

コマンドリンク設定画面が表示されます。



4 コマンドリンク操作したい機能に対応するボタンを押して、反転表示させる。

5 **[Exit]**を押して、メニューを抜ける。

ONにした機能をマスター機で設定・調整すると、スレーブ機に接続されたカメラも同様に設定・調整されます。

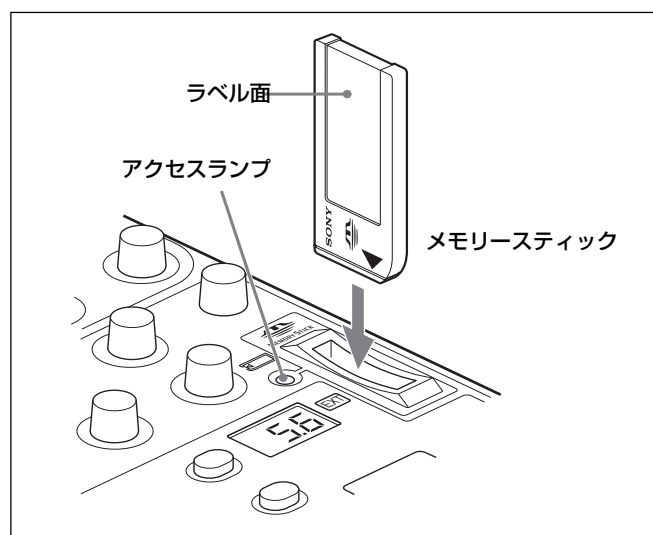
メモリースティック

メモリースティックの取り付け

別売りのメモリースティックを使用すると、ファイル情報を保存し、他のRCPでも同じファイル情報を共有することができます。

メモリースティックを取り付けるには

ラベル面を左にして、端子を奥に向けてメモリースティック装着部に差し込みます。カチッと音がして、アクセスランプが赤く点灯するまで差し込んでください。



ご注意

アクセスランプが赤く点灯している間はメモリースティックの抜き差しはしないでください。

メモリースティックを外すには

装着されているメモリースティックを押します。先端が少し出てきますので、引き抜きます。

アクセスランプについて

アクセスランプがメモリースティックの状態を表示します。

消灯：メモリースティックが挿入されていません。

緑点灯：メモリースティックが挿入されています。この状態のときはメモリースティックを安全に抜くことができます。

赤点灯：データの読み出し / 書き込み中です。この状態でメモリースティックを抜き差しすると、データは保証されません。全データが消えてしまうこともあります。

大切なデータはバックアップを取っておくことをお勧めします。

メモリースティックについて

メモリースティックとは？

メモリースティックは、小さくて軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。メモリースティック対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアの1つとしてデータの保存にもお使いいただけます。

メモリースティックの種類

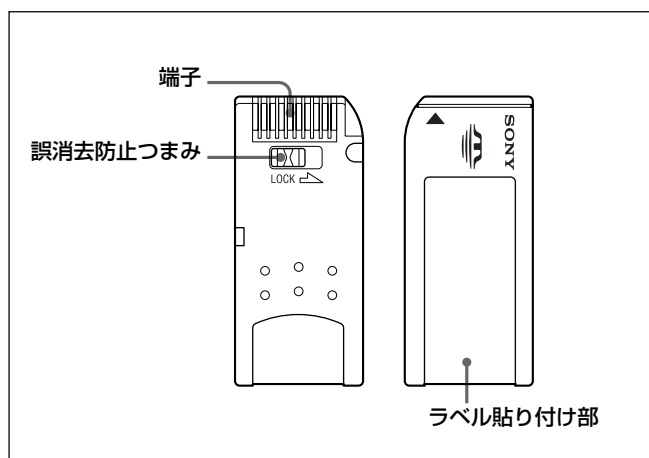
メモリースティックには、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した“マジックゲートメモリースティック”と、搭載していない一般の“メモリースティック”の2種類があります。

本機では“マジックゲートメモリースティック”と一般の“メモリースティック”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

マジックゲートとは？

マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

メモリースティックの構造



誤消去防止つまみを「LOCK」にすると記録、消去などができなくなります。

メモリースティックの取り扱いについてのご注意

- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
 - 読み込み中、書き込み中にメモリースティックを抜いたり、本機の電源を切った場合
 - 静電気や電氣的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合大切なデータはバックアップを取っておくことをお勧めします。
- 端子部に触れたり、金属を接触させたりしないでください。
- ラベルの貼り付け部には、専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは所定のラベル貼り付け部に貼ってください。はみださないようにご注意ください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落したりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所での使用や保管は避けてください。
 - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- 持ち運びや保管の際は付属の収納ケースに入れてください。
- RCP-D50/D51 で使用できる容量のメモリースティックは、カメラ側では 使用できない場合があります。
メモリースティックを使ってカメラとデータを交換する際は、カメラと RCP-D50/D51 双方で使用可能な容量のメモリースティックをご使用ください。

- Memory Stick (メモリースティック) および  は、ソニー株式会社の商標です。
 - MagicGate Memory Stick (マジックゲートメモリースティック) および **MAGICGATE** は、ソニー株式会社の商標です。

主な仕様

一般

電源	DC10.5～17 V
消費電力	4.5 W
ケーブル長	最大50 m (CCA-7ケーブル使用時)
動作温度	5℃～40℃
最大外形寸法	RCP-D50：102×354×126.5 mm RCP-D51：102×354×86.5 mm (幅/高さ/奥行き)
質量	RCP-D50：1.5 kg RCP-D51：1.3 kg

入出力

CCU/CAMERA	10ピンマルチコネクタ (1)
MONITOR	BNC コネクタ (1)
EXT I/O	9ピンD-subコネクタ (1)

付属品

リモートケーブル CCA-7-5 (5 m) (1)
取扱説明書 (1組)
保証書 (1)
ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内 (1)

別売りアクセサリ

リモートケーブル CCA-7-5 (5 m)
リモートケーブル CCA-7-25 (25 m)
メモリースティック

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお確かめください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店またはお近くのソニーのサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

保証期間中の修理など、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ店またはお近くのソニーのサービス窓口にお問い合わせください。

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ